

## 2024年関西圏新築マンション契約者動向調査

～平均購入価格は5409万円で、2001年調査開始以降、過去最高に  
「資産として有利」という購入理由が過去最高値、「金利が低い」「税制が有利」は最低値～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の住まい領域の調査研究機関である『SUUMOリサーチセンター』では、新築分譲マンション市場の実態をつかむために、関西圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を2003年（※2001、2002年契約者分も回収あり）より毎年実施しております。このたび、2024年に契約された方の動向を取りまとめました。時系列比較をしながら、概要をご報告いたします。

### 1. 購入者のプロフィール変化

- 世帯主の平均年齢は40.4歳で、2021年以降、40歳を超え続けている（P4）
- 2001年調査開始以降、子どもあり世帯の割合は2番目に低い（P5）
- 既婚世帯の共働き比率は72%で、2001年調査開始以降最も高い（P6）
- 世帯総年収は全体平均で945万円で、2008年以降で最も高い（P7）

### 2. 購入物件の変化

- 大阪市内エリアの購入割合は27%で、2023年よりわずかに減少（P9）
- 大阪市内、東大阪・奈良の居住者では、流出（他エリアで購入）が2023年より増加（P10）
- 平均購入価格は5409万円で、2001年調査開始以降最も高い（P11）
- 平均購入価格は、大阪市内ほか4エリアで、2001年調査開始以降最も高い（P12）
- 平均専有面積は68.7㎡で2022年と並び、2001年調査開始以降で最も小さい（P13）

### 3. 自己資金、ローン借入状況の変化

- 自己資金0%の割合は23%で、2001年調査開始以降最も高い（P15）
- ローン借入総額は平均4767万円 2005年以降で最も高い（P16）

### 4. 購入者の意識変化

- 「資産として有利」という理由が2003年以降で最高値、「金利が低い」「税制が有利」は最低値（P18）
- 2023年同様、日々の生活のしやすさを求める割合が最も高い（P19）
- 2005年以降で重視度が最低値の項目が目立つ（間取りプラン、住戸の向き、設備・仕様等）（P20）
- 48%が中古マンションと並行検討 新築一戸建てと並行検討は21%で、2003年以降2番目に低い（P21）
- 購入を思い立ってから契約までの期間は平均9.0カ月（P22）

本件に関する  
お問い合わせ先

SUUMOリサーチセンター <https://help.suumo.jp/s/jresearch>  
※報道関連・マスメディアの方は[こちら](#)よりお問い合わせください。

調査概要	3
1. 契約世帯主の属性 年齢	4
2. 契約世帯主の属性 ライフステージ	5
3. 契約世帯主の属性 共働き比率	6
4. 契約世帯主の属性 世帯総年収	7
5. 契約世帯主の属性 共働き世帯の年収詳細	8
6. 購入物件所在地	9
7. 購入物件所在地 契約前住所別推移	10
8. 購入価格	11
9. 購入価格（購入エリア別・平均値の時系列推移）	12
10. 専有面積	13
11. 専有面積（購入エリア別・平均値の時系列推移）	14
12. 自己資金比率	15
13. ローン借入額	16
14. ローン契約形態	17
15. 住まいの購入理由	18
16. 暮らし方のイメージ	19
17. 重視項目	20
18. 検討住宅種別	21
19. 購入を思い立ってから契約までの期間	22

- **調査目的** 関西圏新築分譲マンション契約者の購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する
- **調査対象**
  - ▽ 2024年1月～2024年12月の関西圏（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県）新築分譲マンション購入契約者
    - ※ 2024年1月～2024年12月の契約者の確認方法…回答票に契約書等（契約日・物件所在地が確認できる書類）コピーの添付を依頼（調査協力依頼①③の方のみ）
- **調査方法**
  - ▽ 協力依頼
    - ①関西圏各種メディアを通して調査対象者へ協力依頼
      - ↳ 電車内広告 / 『SUUMO新築マンション』 / 『SUUMO (Web)』 / 『スーモカウンター』 / インターネット広告
    - ②マンション分譲会社での契約会などを通して調査対象者へ協力依頼
    - ③調査対象の入居済み新築分譲マンションに、協力依頼書と調査票を投函
  - ▽ 調査方法 ①はWeb調査 ②③はWeb調査と郵送調査の併用
- **集計対象期間** 2024年1月～2024年12月
- **集計数** 計2,170件

- ▽ 経年のデータについて…年によって調査方法や対象の物件種別は異なるが、各年とも新築分譲マンション契約者のサンプルのみで集計している。また、基本的には調査開始以降全てのデータを掲載しているが、途中から調査するようになった設問もあるため、経年データの開始年は設問によって異なる。
- ▽ 2003年～2006年は、全住宅購入契約者を対象とした調査（項目は全物件種共通）を一次調査、新築分譲マンション契約者のみを対象とした調査を二次調査として実施。2007年からは一次・二次をまとめ、一括で実施。2009年4月からは調査対象を新築分譲マンション契約者のみに限定して、調査を実施している。

調査	有効サンプル数	調査発表	調査	有効サンプル数	調査発表
2023年契約者	2,114件	2024年3月	2011年契約者	1,607件	2012年3月
2022年契約者	1,920件	2023年3月	2010年契約者	1,967件	2011年3月
2021年契約者	2,220件	2022年3月	2009年契約者	922件	2010年3月
2020年契約者	974件	2021年3月	2008年契約者	1,071件	2009年4月
2019年契約者	1,024件	2020年3月	2007年契約者	1,035件	2008年4月
2018年契約者	1,125件	2019年3月	2006年契約者	1,603件 (うち二次調査：1,489件)	/
2017年契約者	1,160件	2018年3月	2005年契約者	1,248件 (うち二次調査：936件)	
2016年契約者	1,355件	2017年3月	2004年契約者	1,146件 (うち二次調査：870件)	
2015年契約者	1,449件	2016年3月	2003年契約者	1,648件 (うち二次調査：1,276件)	
2014年契約者	1,088件	2015年3月	2002年契約者 ※	1,473件 (うち二次調査：1,204件)	
2013年契約者	1,557件	2014年3月	2001年契約者 ※	1,500件 (うち二次調査：1,388件)	
2012年契約者	2,041件	2013年3月			

※調査開始が2003年からであるため、2001・2002年契約者分は、2003年以降の調査で回収した。

エリア区分は市郡を基に次のように分類している

大阪市内エリア	【大阪府】 大阪市
北摂エリア	【大阪府】 豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、三島郡、豊能郡 【兵庫県】 川西市、川辺郡
阪神間エリア	【兵庫県】 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、丹波篠山市
神戸市以西エリア	【兵庫県】 神戸市、姫路市、明石市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市
南大阪・和歌山エリア	【大阪府】 堺市、泉南市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、大阪狭山市、泉北郡、泉南郡、南河内郡 【和歌山県】 (全域)
東大阪・奈良エリア	【大阪府】 東大阪市、八尾市、柏原市 【奈良県】 (全域)
京阪エリア	【大阪府】 交野市、四條畷市、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市
京都エリア	【京都府】 (全域)
滋賀エリア	【滋賀県】 (全域)
その他	上記以外の大阪府、兵庫県

※調査データを引用する際は、「2024年関西圏新築マンション契約者動向調査（株式会社リクルート）」と明記をお願いいたします。

# 1. 契約世帯主の属性 年齢

● 世帯主の平均年齢は40.4歳で、2021年以降、40歳を超え続けている

- ◇ 30代が4割強を占め、34歳以下がやや増加。平均年齢は40.4歳で、2021年以降、40歳を超え続けている。
- ◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯の平均年齢が最も低く、33.0歳である。

## ■ 契約時世帯主年齢（全体／実数回答）

	20代	30～34歳	35～39歳	40代	50代	60歳以上	無回答	平均(歳)
●凡例								
2024年契約者全体 (n=2170)	17.1	25.8	16.7	17.1	11.0	11.2	1.1	40.4
2023年契約者全体 (n=2114)	15.1	25.4	17.6	17.6	11.4	11.4	1.5	41.0
2022年契約者全体 (n=1920)	14.2	22.1	19.3	20.3	11.5	11.4	1.1	41.3
2021年契約者全体 (n=2220)	15.7	24.1	19.1	20.6	9.5	10.2	0.8	40.4
2020年契約者全体 (n= 974)	14.7	30.1	20.7	18.0	9.8	6.3	0.5	38.8
2019年契約者全体 (n=1024)	16.1	30.2	23.3	17.2	8.4	4.2	0.6	37.9
2018年契約者全体 (n=1125)	15.4	31.6	18.3	17.1	8.4	8.2	1.2	38.9
2017年契約者全体 (n=1160)	14.1	29.1	19.3	21.1	8.9	6.9	0.6	39.2
2016年契約者全体 (n=1355)	13.0	28.3	19.1	23.1	9.2	6.4	0.8	39.5
2015年契約者全体 (n=1449)	14.6	27.7	22.4	19.0	8.8	7.1	0.3	39.0
2014年契約者全体 (n=1088)	14.9	26.9	23.4	20.2	9.7	4.6	0.2	38.5
2013年契約者全体 (n=1557)	14.9	26.5	21.3	21.6	10.3	5.2	0.3	38.9
2012年契約者全体 (n=2041)	16.7	28.9	24.0	18.2	8.0	4.0	0.3	37.7
2011年契約者全体 (n=1607)	17.4	28.4	22.7	20.5	6.0	4.9	0.1	37.7
2010年契約者全体 (n=1967)	17.4	31.2	23.9	17.6	6.6	3.2	0.2	36.8
2009年契約者全体 (n= 922)	19.0	31.8	22.9	19.1	5.2	2.1	—	36.2
2008年契約者全体 (n=1071)	24.3	31.7	21.6	15.6	4.7	2.1	—	35.3
2007年契約者全体 (n=1035)	21.3	34.2	23.2	15.7	4.0	1.6	0.1	35.3
2006年契約者全体 (n=1603)	22.0	35.6	20.6	15.3	3.9	2.1	0.5	35.3
2005年契約者全体 (n=1248)	19.7	34.7	19.1	18.3	5.6	2.5	0.2	36.1
2004年契約者全体 (n=1146)	21.2	36.0	18.9	15.5	5.8	1.9	0.6	35.6
2003年契約者全体 (n=1648)	22.1	30.8	21.7	17.5	5.7	2.1	0.2	36.0
2002年契約者全体 (n=1473)	22.3	28.4	20.9	18.5	6.7	3.0	0.2	36.6
2001年契約者全体 (n=1500)	23.5	25.3	18.6	17.9	9.8	4.7	0.2	37.6

(単位: %)

2024年契約者全体		2170	17.1	25.8	16.7	17.1	11.0	11.2	1.1	40.4
ライフ ステージ 別※1	シングル男性世帯	140	17.1	14.3	15.0	19.3	17.1	17.1	—	44.0
	シングル女性世帯	245	11.4	14.3	12.2	25.3	21.6	15.1	—	45.1
	夫婦のみ世帯	629	32.0	34.8	18.4	14.3	—	—	0.5	33.0
	子どもあり世帯	782	13.0	33.5	22.6	19.8	7.0	3.7	0.3	37.5
	シニアカップル世帯	212	—	—	—	—	39.6	60.4	—	62.3
共働き 状況別 ※2	既婚・共働きしている	1166	23.2	34.1	18.2	13.4	7.1	3.8	0.2	36.0
	世帯総年収1000万円以上	378	20.4	39.7	18.5	12.4	7.1	1.6	0.3	35.5
	世帯総年収1000万円未満	538	31.2	35.1	17.3	10.8	3.7	1.9	—	33.8
	既婚・共働きしていない	457	7.0	18.2	17.7	19.5	12.3	24.7	0.7	46.5
【参考】2024年首都圏契約者全体	5188	16.3	29.7	18.6	18.1	8.3	7.9	1.0	39.0	
		50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い							
		50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い							

3-01-01

※1:ライフステージ別の区分についてはP5参照。

※2:共働き状況別についてはP6参照。

## 2. 契約世帯主の属性 ライフステージ

### ● 2001年調査開始以降、子どもあり世帯の割合は2番目に低い

- ◇ 「子どもあり世帯」が36%、「夫婦のみ世帯」が29%、「シングル世帯」が18%を占める。
- ◇ 2001年調査開始以降、「子どもあり世帯」の割合は2番目に低くなった。

### ■ ライフステージ（全体／単一回答）

●凡例	シングル世帯		夫婦のみ世帯	子どもあり世帯		シニアカップル世帯	その他・不明	シングル世帯	子どもあり世帯
	シングル男性世帯	シングル女性世帯		第一子小学校入学前世帯	第一子小学生以上世帯				
2024年契約者全体 (n=2170)	6.5	11.3	29.0	26.1	9.9	9.8	7.5	17.7	36.0
2023年契約者全体 (n=2114)	5.0	10.1	27.1	27.2	9.5	12.6	8.5	15.1	36.7
2022年契約者全体 (n=1920)	6.1	12.6	25.9	26.0	11.1	9.7	8.4	18.8	37.1
2021年契約者全体 (n=2220)	5.9	12.8	28.2	25.4	9.8	9.7	8.2	18.7	35.2
2020年契約者全体 (n= 974)	4.6	11.5	34.0	27.3	10.2	6.5	6.0	16.1	37.5
2019年契約者全体 (n=1024)	4.8	8.5	36.5	29.9	8.7	5.3	6.3	13.3	38.6
2018年契約者全体 (n=1125)	5.2	5.8	33.1	30.7	9.1	8.2	8.0	11.0	39.7
2017年契約者全体 (n=1160)	5.9	7.2	31.7	32.0	9.9	7.2	6.2	13.0	41.9
2016年契約者全体 (n=1355)	5.7	8.7	30.8	30.1	10.3	6.9	7.5	14.4	40.4
2015年契約者全体 (n=1449)	5.4	8.9	29.1	32.5	9.9	7.7	6.5	14.3	42.4
2014年契約者全体 (n=1088)	5.7	8.4	30.0	33.0	10.4	5.5	7.1	14.1	43.4
2013年契約者全体 (n=1557)	6.7	8.0	32.1	28.7	11.6	7.3	5.5	14.8	40.3
2012年契約者全体 (n=2041)	5.1	7.6	34.3	31.3	10.2	5.2	6.3	12.7	41.5
2011年契約者全体 (n=1607)	5.2	8.2	34.8	30.2	11.6	3.7	6.2	13.4	41.9
2010年契約者全体 (n=1967)	5.1	7.4	36.9	30.6	10.5	3.7	5.8	12.6	41.0
2009年契約者全体 (n= 922)	5.0	6.8	37.5	31.5	10.4	3.5	5.3	11.8	41.9
2008年契約者全体 (n=1071)	5.6	5.5	36.1	33.3	9.2	2.8	7.4	11.1	42.6
2007年契約者全体 (n=1035)	5.4	4.4	34.8	35.7	11.3	2.3	6.0	9.9	47.1
2006年契約者全体 (n=1603)	5.0	5.4	33.6	35.9	10.9	2.6	6.6	10.4	46.8
2005年契約者全体 (n=1248)	5.4	6.2	31.5	33.0	11.9	3.6	8.3	11.6	45.0
2004年契約者全体 (n=1146)	5.5	8.7	33.5	30.8	12.7	2.8	5.9	14.2	43.5
2003年契約者全体 (n=1648)	5.5	7.8	32.9	29.8	15.5	2.5	6.0	13.2	45.3
2002年契約者全体 (n=1473)	5.4	7.1	29.5	29.8	17.5	4.5	6.2	12.6	47.3
2001年契約者全体 (n=1500)	6.4	7.1	25.0	28.5	21.2	5.9	5.9	13.5	49.7

(単位: %)

2024年契約者全体		2170	6.5	11.3	29.0	26.1	9.9	9.8	7.5	17.7	36.0
共働き状況別	既婚・共働きしている	1166	—	—	47.7	35.3	9.4	7.5	—	—	44.8
	世帯総年収1000万円以上	378	—	—	46.6	38.4	9.8	5.3	—	—	48.1
	世帯総年収1000万円未満	538	—	—	53.5	36.8	5.4	4.3	—	—	42.2
	既婚・共働きしていない	457	—	—	16.0	33.9	23.0	27.1	—	—	56.9
【参考】2024年首都圏契約者全体	5188	7.6	10.0	33.2	25.7	9.1	7.1	7.2	17.6	34.8	

50.0 …(属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い

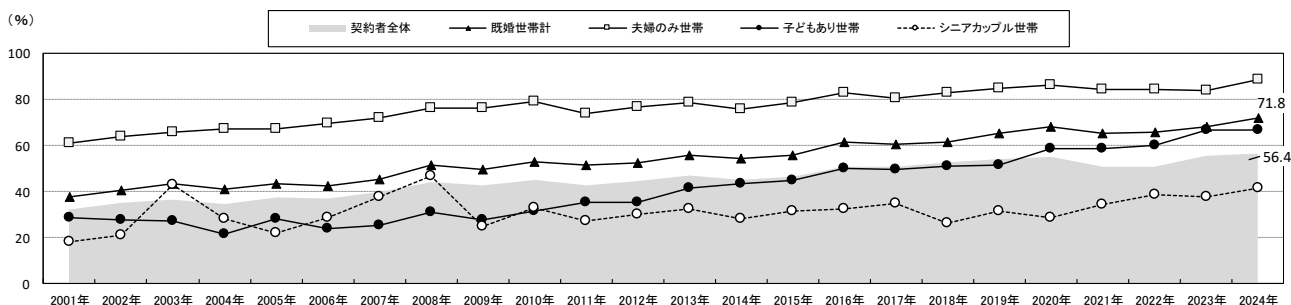
※「シニアカップル世帯」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯。

### 3. 契約世帯主の属性 共働き比率

#### ● 既婚世帯の共働き比率は72%で、2001年調査開始以降最も高い

- ◇ 全体に占める共働き世帯の割合は56%。既婚世帯では72%で、2001年調査開始以降最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯では88%、子どもあり世帯では67%、シニアカップル世帯では42%である。

#### ■ 共働き比率※1（全体／単一回答）



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
契約者全体	32.0	34.9	36.3	34.4	37.5	36.9	39.7	44.3	42.8	44.9	42.8	44.6
既婚世帯計※2	37.9	40.6	43.4	41.1	43.2	42.5	45.1	51.7	49.6	53.1	51.6	52.5
夫婦のみ世帯	60.8	64.1	65.9	67.4	67.4	69.8	72.2	76.2	76.3	79.0	74.1	76.9
子どもあり世帯	28.7	27.8	27.0	21.6	28.0	23.7	25.5	31.1	27.7	31.6	35.1	35.2
第一子小学校入学前世帯	21.1	23.5	21.4	17.6	25.2	20.1	23.0	29.4	24.8	30.8	32.9	34.3
第一子小学生以上世帯	39.0	35.3	37.9	31.5	35.6	35.6	33.3	37.4	36.5	34.0	40.6	37.8
シニアカップル世帯	18.0	21.2	42.9	28.1	22.2	28.6	37.5	46.7	25.0	32.9	27.1	30.2
【参考】首都圏契約者全体	35.4	36.1	36.8	37.1	39.4	42.7	42.7	39.9	44.6	47.1	47.0	48.8

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
契約者全体	47.1	45.2	46.6	50.6	50.9	52.6	54.3	55.2	51.0	50.8	55.4	56.4
既婚世帯計	55.8	54.5	55.7	61.3	60.4	61.5	65.4	68.1	65.3	66.0	68.0	71.8
夫婦のみ世帯	78.8	75.8	78.4	82.7	80.7	83.1	84.8	86.1	84.3	84.5	83.9	88.4
子どもあり世帯	41.6	43.2	44.7	50.0	49.4	50.8	51.6	58.6	58.5	60.3	66.7	66.8
第一子小学校入学前世帯	41.2	41.2	48.0	50.7	49.1	54.5	54.9	61.7	62.8	65.3	72.5	72.7
第一子小学生以上世帯	42.5	49.6	34.0	47.9	50.4	38.2	40.4	50.5	47.5	48.6	50.0	51.2
シニアカップル世帯	32.7	28.3	31.3	32.3	34.9	26.1	31.5	28.6	34.4	38.5	37.5	41.5
【参考】首都圏契約者全体	49.5	53.2	52.1	54.7	56.8	57.3	58.6	59.9	58.9	57.4	58.6	59.5
	60.0	…前年より5ポイント以上増加										
	50.0	…前年より5ポイント以上減少										

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967	1,607	2,041
既婚世帯計	1,209	1,197	1,331	915	999	1,331	871	873	764	1,605	1,292	1,654
夫婦のみ世帯	375	434	542	384	393	539	360	387	346	725	560	701
子どもあり世帯	745	697	747	499	561	750	487	456	386	807	673	847
第一子小学校入学前世帯	427	439	491	353	412	576	370	357	290	601	486	638
第一子小学生以上世帯	318	258	256	146	149	174	117	99	96	206	187	209
シニアカップル世帯	89	66	42	32	45	42	24	30	32	73	59	106
【参考】首都圏契約者全体	6,919	5,873	4,616	3,743	2,439	3,536	2,847	2,431	3,022	4,035	3,746	4,384

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
契約者全体	1,557	1,088	1,449	1,355	1,160	1,125	1,024	974	2,220	1,920	2,114	2,170
既婚世帯計	1,241	858	1,148	1,058	937	911	823	759	1,622	1,398	1,614	1,623
夫婦のみ世帯	500	326	421	417	368	372	374	331	626	498	572	629
子どもあり世帯	628	472	615	548	486	447	395	365	781	713	775	782
第一子小学校入学前世帯	447	359	471	408	371	345	306	266	564	499	575	567
第一子小学生以上世帯	181	113	144	140	115	102	89	99	217	214	200	215
シニアカップル世帯	113	60	112	93	83	92	54	63	215	187	267	212
【参考】首都圏契約者全体	5,518	3,347	4,065	4,294	4,768	3,760	4,931	5,139	7,289	5,972	4,934	5,188

※1共働き比率：雇用形態の設定に対し、世帯主・配偶者ともに下記①～⑥のいずれかに該当する者を「共働き」とした。

- ①正社員 ②契約社員 ③公務員・団体職員 ④自営業 ⑤医師・弁護士・税理士・会計士等 ⑥アルバイト・パート
- ⑦主婦 ⑧学生 ⑨無職 ⑩その他

※2既婚世帯計：ライフステージの「シングル世帯」と「その他・不明」を除いたサンプルの合計。

#### 4. 契約世帯主の属性 世帯総年収

- 世帯総年収は全体平均で945万円、2008年以降で最も高い

◇ ライフステージ別に見ると、平均世帯総年収が最も高いのは、シニアカップル世帯で1188万円。次いで、子どもあり世帯で987万円である。

#### ■ 世帯総年収（全体／実数回答）

	400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答	平均 (万円)
●凡例								
2024年契約者全体 (n=2170)	1.5	10.1	16.0	16.3	12.2	14.3	29.5	945
2023年契約者全体 (n=2114)	1.6	11.1	16.6	14.8	12.2	14.0	29.8	932
2022年契約者全体 (n=1920)	1.8	12.9	17.8	14.8	9.0	13.4	30.3	921
2021年契約者全体 (n=2220)	2.2	15.5	19.0	13.7	9.9	10.5	29.2	854
2020年契約者全体 (n= 974)	2.1	12.5	21.8	16.5	9.9	10.4	26.9	856
2019年契約者全体 (n=1024)	2.3	18.2	19.0	13.4	9.4	9.1	28.6	814
2018年契約者全体 (n=1125)	2.5	18.9	23.2	19.3	11.3	10.0	14.8	821
2017年契約者全体 (n=1160)	4.4	27.7	24.1	15.3	9.7	10.9	7.8	776
2016年契約者全体 (n=1355)	3.7	28.0	25.1	15.4	10.6	10.4	6.8	774
2015年契約者全体 (n=1449)	5.4	30.9	24.6	15.0	8.4	6.4	9.2	708
2014年契約者全体 (n=1088)	6.8	32.1	28.0	12.2	8.1	6.5	6.3	701
2013年契約者全体 (n=1557)	6.4	33.8	24.1	15.3	7.2	5.5	7.8	687
2012年契約者全体 (n=2041)	7.8	35.6	25.8	14.0	6.4	4.8	5.5	658
2011年契約者全体 (n=1607)	9.3	37.0	23.0	13.0	7.5	4.3	5.9	650
2010年契約者全体 (n=1967)	8.9	35.8	26.0	13.3	7.4	4.3	4.3	659
2009年契約者全体 (n= 922)	8.6	36.7	27.4	13.8	5.1	5.2	3.3	655
2008年契約者全体 (n=1071)	8.7	38.7	24.9	13.6	6.1	4.9	3.2	644

2024年契約者全体		2170	1.5	10.1	16.0	16.3	12.2	14.3	29.5	945
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯	140	0.7	13.6	14.3	7.1	7.9	10.0	46.4	948
	シングル女性世帯	245	7.3	17.6	18.0	5.3	2.0	4.1	45.7	645
	夫婦のみ世帯	629	0.2	9.1	18.1	24.0	17.0	14.5	17.2	927
	子どもあり世帯	782	0.8	9.1	18.5	18.5	14.5	18.3	20.3	987
	シニアカップル世帯	212	1.4	3.3	5.7	6.6	7.5	13.7	61.8	1188
共働き 状況別	既婚・共働きしている	1166	0.4	7.9	16.2	21.6	16.5	16.0	21.4	967
	世帯総年収1000万円以上	378	—	—	—	—	50.8	49.2	—	1289
	世帯総年収1000万円未満	538	0.9	17.1	35.1	48.8	—	—	—	740
	既婚・共働きしていない	457	1.1	9.4	17.9	12.7	9.6	16.8	32.4	998
【参考】2024年首都圏契約者全体	5188	0.8	6.0	12.3	14.2	14.1	28.5	24.0	1129	
	50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い								
	50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い								

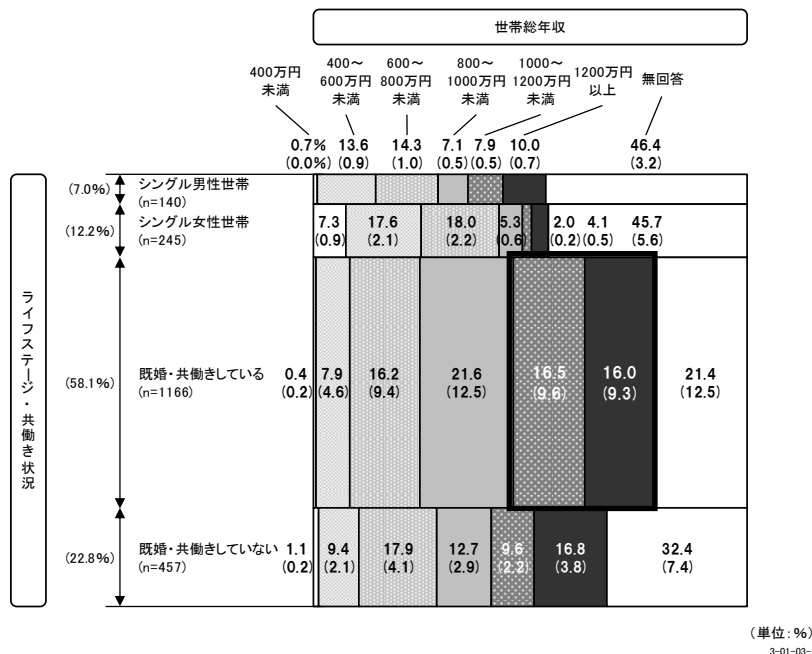
※実数回答形式での世帯総年収は2008年からの設問のため、2008年からのデータ掲載となっている。  
 ※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込年収はどのくらいですか」と尋ねている。

## 5. 契約世帯主の属性 共働き世帯の年収詳細

### ● 総年収1000万円以上の既婚共働き世帯が、全体の19%

◇ 総年収1000万円以上の既婚共働き世帯について、世帯主、配偶者それぞれの平均年収を見ると、世帯主が834万円、配偶者が540万円である。

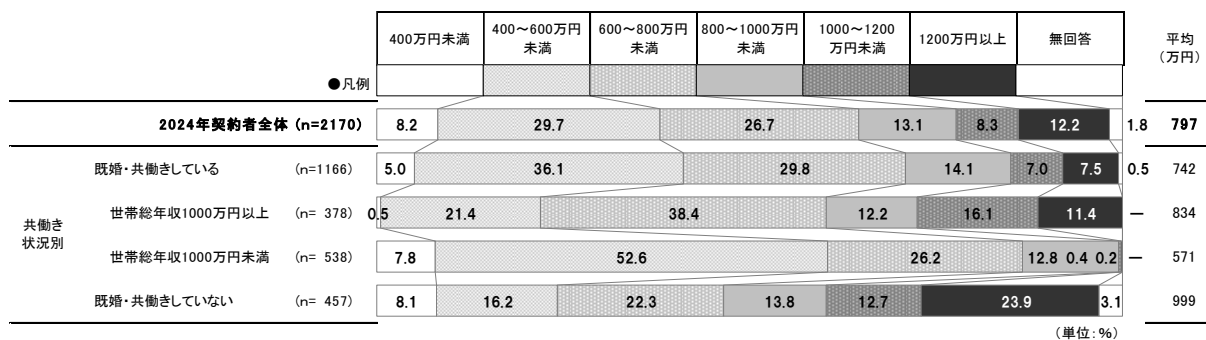
### ■ 世帯総年収（ライフステージ分類不能サンプルを除く n=2,008 / 実数回答）



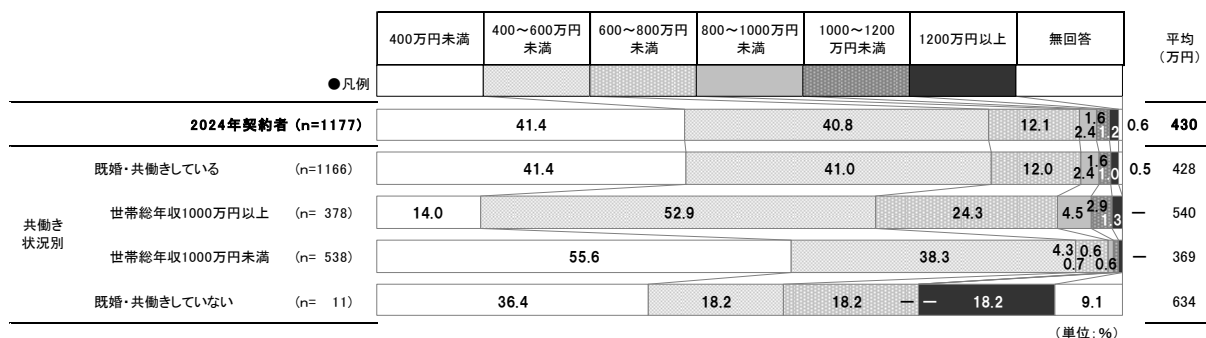
※調査票では、「Q.住宅ローン返済者全員の合計の税込年収はどのくらいですか」と尋ねている。

※上記の面積グラフは、( )内の%がn=2,008に占める割合、( )上の%は各ライフステージや共働き状況の中での割合を示す。

### ■ 世帯主年収（全体 / 実数回答）



### ■ 配偶者年収（既婚世帯 & 配偶者が働いている / 実数回答）



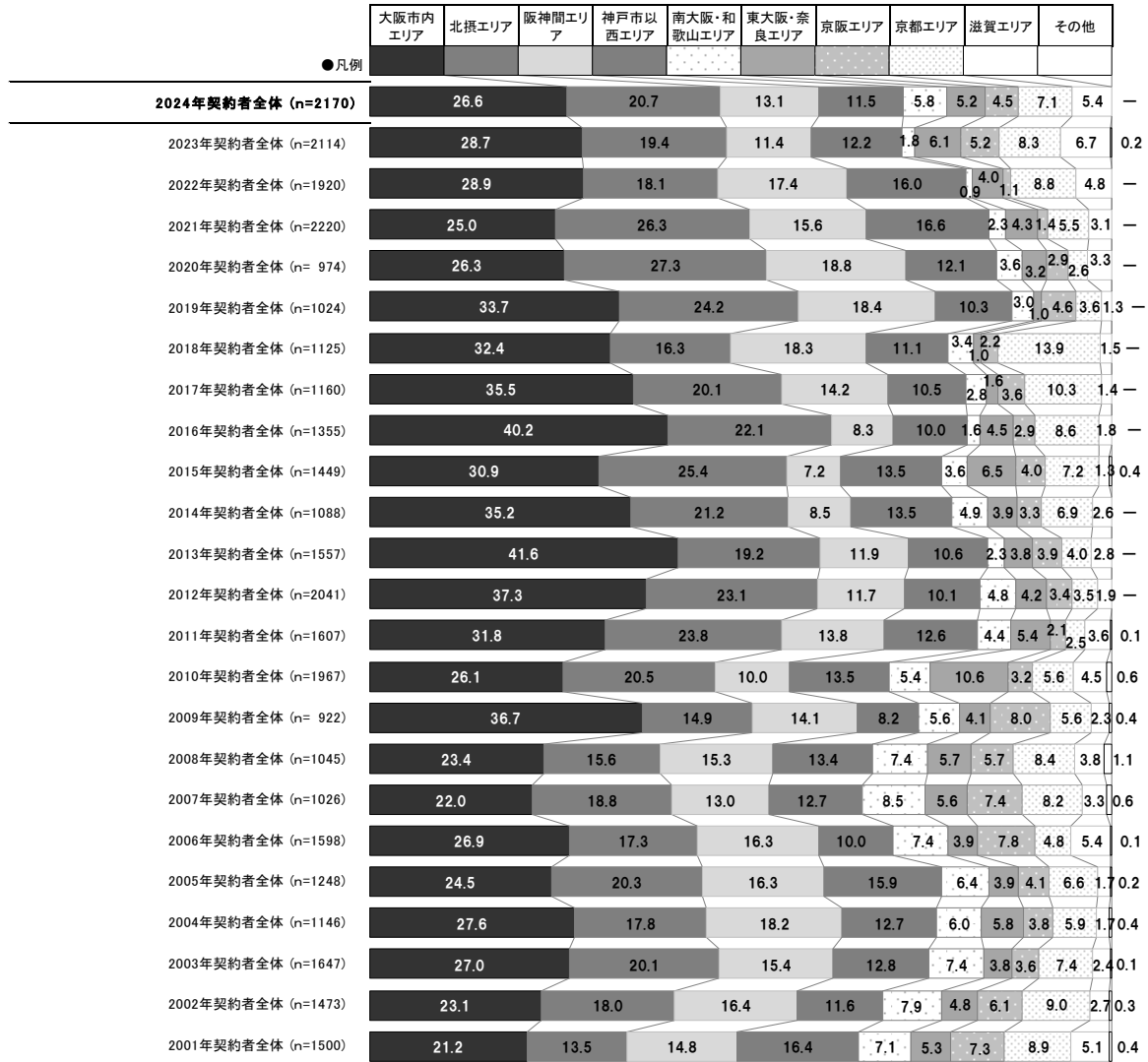


## 6. 購入物件所在地

### ● 大阪市内エリアの購入割合は27%で、2023年よりわずかに減少

- ◇ 購入した物件の所在地は、「大阪市内エリア」が最も高く27%。次いで「北摂エリア」が21%。2023年と比べて「大阪市内エリア」はわずかに減り、「南大阪・和歌山エリア」がやや増加した。
- ◇ ライフステージ別に見ると、「大阪市内エリア」の購入割合が全体と比べて高いのは、シングル男性世帯である。

### ■ 購入物件所在地（全体／単一回答）



2024年契約者全体		2170	26.6	20.7	13.1	11.5	5.8	5.2	4.5	7.1	5.4	—
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯	140	46.4	16.4	5.7	7.1	5.7	6.4	2.1	7.1	2.9	—
	シングル女性世帯	245	30.2	8.2	11.4	13.1	8.2	7.3	4.5	9.8	7.3	—
	夫婦のみ世帯	629	26.4	22.6	14.9	11.6	5.2	4.5	5.7	4.8	4.3	—
	子どもあり世帯	782	22.4	26.6	15.1	10.6	5.5	3.2	4.6	7.0	5.0	—
	シニアカップル世帯	212	19.3	14.6	9.4	16.5	7.5	9.4	2.8	9.0	11.3	—
共働き 状況別	既婚・共働きのいる	1166	24.4	23.2	14.1	11.4	6.1	4.1	5.5	6.3	5.0	—
	世帯総年収1000万円以上	378	23.0	28.6	16.1	11.4	4.8	3.2	4.2	6.9	1.9	—
	世帯総年収1000万円未満	538	24.7	20.3	15.1	11.2	6.7	4.1	6.5	5.0	6.5	—
	既婚・共働きのいない	457	21.4	24.1	14.9	12.7	4.6	5.5	3.1	6.8	7.0	—
	50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上高い										
	50.0	…(属性別)全体値より5ポイント以上低い										

※エリア区分についてはP3参照。

※2008年：購入物件の所在エリアが大阪府・兵庫県だが市区郡不明の26サンプルを除いた1045サンプルで集計。

※2007年：購入物件の所在エリアが大阪府だが市区郡不明の9サンプルを除いた1026サンプルで集計。

※2006年：購入物件の所在エリアが大阪府だが市区郡不明の5サンプルを除いた1598サンプルで集計。

※2003年：購入物件の所在エリアが兵庫県だが市区郡不明の1サンプルを除いた1647サンプルで集計。

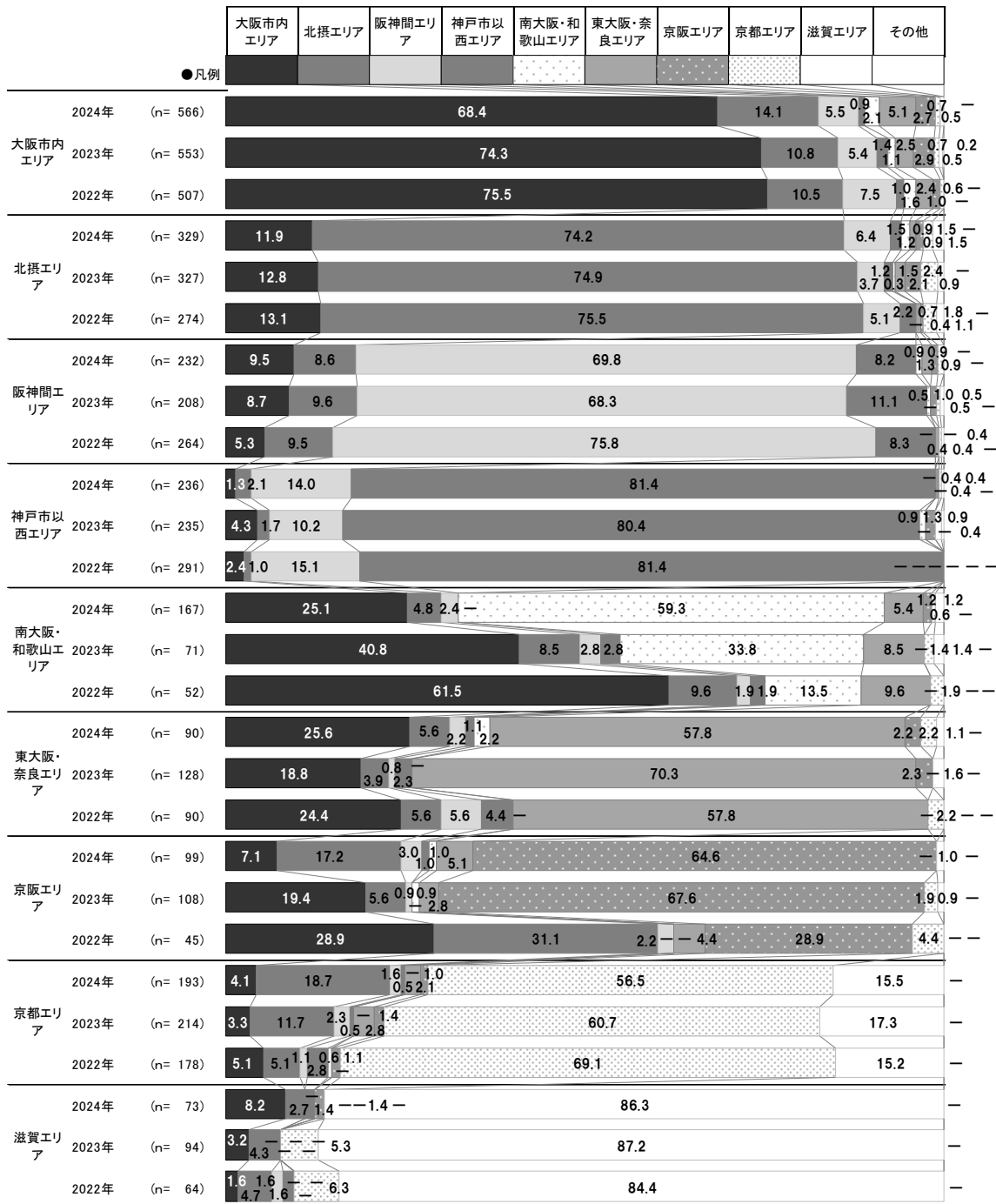
## 7. 購入物件所在地 契約前住所別推移

### ● 大阪市内、東大阪・奈良の居住者では、流出（他エリアで購入）が2023年より増加

◇ 前住所別に、購入した物件の所在地を見たところ、大阪市内エリアの居住者が「大阪市内エリア」の物件を購入した割合は68%で、2023年より6ポイント減少。他エリアでの購入割合（流出）が増加していることになる。

◇ 同様に、東大阪・奈良エリアなどの居住者でも、流出が増加している。

### ■ 契約前住所別 購入物件所在地（直近3年間の推移）



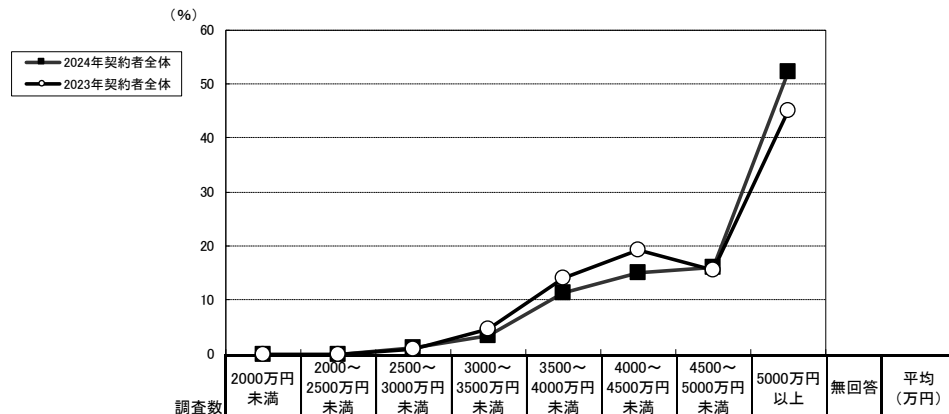
(単位: %)  
3-02-01-3

## 8. 購入価格

### ● 平均購入価格は5409万円で、2001年調査開始以降最も高い

- ◇ 購入価格は「5000万円以上」が52%で最も高く、「4500～5000万円未満」（16%）と合わせると、4500万円以上で全体の7割弱を占める。平均購入価格は5409万円で、2001年調査開始以降最も高くなった。
- ◇ 既婚・共働き世帯を総年収別に見ると、総年収1000万円以上の世帯では「5000万円以上」が75%を占め、平均6106万円となっている。

### ■ 購入価格（全体／実数回答）



		調査数	2000万円未満	2000～2500万円未満	2500～3000万円未満	3000～3500万円未満	3500～4000万円未満	4000～4500万円未満	4500～5000万円未満	5000万円以上	無回答	平均(万円)
<b>2024年契約者全体</b>		<b>2170</b>	—	—	<b>1.0</b>	<b>3.4</b>	<b>11.3</b>	<b>15.1</b>	<b>15.9</b>	<b>52.1</b>	<b>1.2</b>	<b>5409</b>
2023年契約者全体		2114	—	—	0.8	4.7	14.1	19.1	15.5	45.0	0.7	5228
2022年契約者全体		1920	0.1	0.1	2.0	8.2	15.6	14.7	15.7	42.3	1.3	5071
2021年契約者全体		2220	—	—	2.5	9.6	21.9	16.8	15.9	32.3	0.9	4780
2020年契約者全体		974	0.3	0.4	2.3	9.7	22.0	21.5	16.6	26.7	0.6	4633
2019年契約者全体		1024	0.2	0.6	4.5	14.1	20.3	16.9	15.3	27.2	0.9	4517
2018年契約者全体		1125	0.1	0.8	4.8	14.7	24.4	19.6	13.7	20.8	1.2	4338
2017年契約者全体		1160	0.3	1.3	7.8	22.6	23.1	18.2	12.1	14.2	0.5	4060
2016年契約者全体		1355	0.3	1.0	8.2	20.7	27.0	14.4	10.6	16.8	1.0	4094
2015年契約者全体		1449	0.1	2.3	13.7	26.6	26.7	13.9	6.8	8.6	1.2	3770
2014年契約者全体		1088	0.6	6.3	21.0	22.7	27.5	11.6	4.9	4.7	0.8	3510
2013年契約者全体		1557	0.7	7.2	24.7	30.6	18.6	9.4	4.6	3.3	0.8	3383
2012年契約者全体		2041	1.0	10.2	29.8	27.2	15.4	7.9	4.1	3.7	0.4	3296
2011年契約者全体		1607	1.8	11.1	25.9	26.7	17.1	8.5	4.5	3.9	0.5	3321
2010年契約者全体		1967	2.1	11.7	23.1	26.0	16.3	11.1	4.6	4.1	1.0	3339
2009年契約者全体		922	2.8	12.7	26.1	24.1	16.9	7.2	4.7	4.0	1.5	3272
2008年契約者全体		1071	2.0	11.2	27.7	26.5	15.4	8.2	4.2	3.3	1.5	3286
2007年契約者全体		1035	1.4	9.4	28.2	24.0	18.8	7.8	5.0	4.3	1.2	3346
2006年契約者全体		1603	1.6	11.8	31.8	24.0	15.1	7.6	3.4	3.4	1.4	3243
2005年契約者全体		1248	2.2	15.5	31.5	23.7	13.6	6.2	3.4	2.6	1.4	3151
2004年契約者全体		1146	2.5	14.0	32.4	24.6	14.1	6.3	2.7	2.4	1.0	3144
2003年契約者全体		1648	3.3	16.0	31.2	23.4	15.2	5.8	2.4	2.1	0.7	3099
2002年契約者全体		1473	2.8	15.9	29.5	25.4	15.0	5.2	2.6	2.5	1.2	3127
2001年契約者全体		1500	2.5	14.5	29.0	26.5	15.7	6.7	2.6	2.1	0.4	3153
ライフステージ別	シングル男性世帯	140	—	—	1.4	7.1	<b>17.9</b>	10.7	12.9	47.9	2.1	5306
	シングル女性世帯	245	—	0.4	4.1	8.2	<b>20.4</b>	16.7	16.7	32.2	1.2	4820
	夫婦のみ世帯	629	—	—	0.2	1.6	9.1	17.2	17.3	53.9	0.8	5331
	子どもあり世帯	782	0.1	—	0.3	1.4	7.5	14.2	17.6	<b>57.8</b>	1.0	5635
	シニアカップル世帯	212	—	—	1.4	4.7	14.6	15.1	10.4	52.8	0.9	5548
共働き状況別	既婚・共働きしている	1166	0.1	—	0.3	2.1	8.1	16.0	18.1	54.5	0.9	5423
	世帯総年収1000万円以上	378	0.3	—	—	—	2.6	7.4	13.2	<b>75.4</b>	1.1	6106
	世帯総年収1000万円未満	538	—	—	0.4	2.6	10.8	<b>22.5</b>	<b>22.9</b>	40.1	0.7	4898
	既婚・共働きしていない	457	—	—	0.7	1.5	11.4	14.2	12.7	<b>58.4</b>	1.1	5717
【参考】2024年首都圏契約者全体		5188	0.1	—	0.6	1.6	6.3	7.1	9.8	<b>73.0</b>	1.6	6629

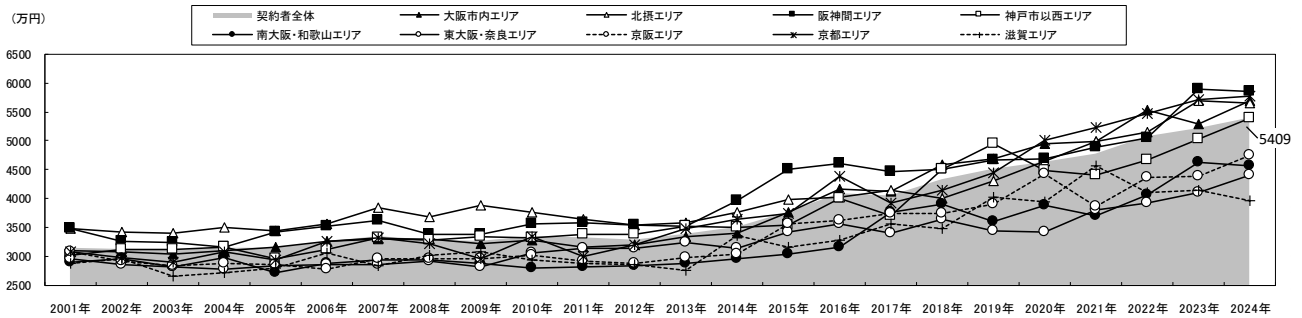
50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上低い

## 9. 購入価格（購入エリア別・平均値の時系列推移）

- 平均購入価格は、大阪市内ほか4エリアで、2001年調査開始以降最も高い

◇ 購入物件所在地別に平均購入価格を見ると、2023年に続き2024年も阪神間エリアが5858万円で最も高い。また、2001年からの推移を見ると、大阪市内エリア、神戸市以西エリア、東大阪・奈良エリア、京阪エリア、京都エリアは、平均購入価格がこれまでで最も高くなっている。

### ■ 購入物件所在地別 平均購入価格の推移



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
契約者全体	3153	3127	3099	3144	3151	3243	3346	3286	3272	3339	3321	3296
大阪市内エリア	3093	3068	3042	3097	3154	3258	3294	3300	3224	3280	3160	3199
北摂エリア	3474	3421	3401	3500	3433	3553	3840	3682	3877	3764	3640	3541
阪神間エリア	3488	3251	3240	3160	3427	3515	3625	3372	3376	3567	3581	3530
神戸市以西エリア	3012	3115	3121	3156	2964	3109	3308	3270	3345	3319	3373	3377
南大阪・和歌山エリア	2890	2947	2809	2978	2718	2866	2943	2940	2871	2792	2806	2830
東大阪・奈良エリア	2960	2844	2804	2771	2826	2863	2861	2917	2804	3060	3140	3142
京阪エリア	3083	2922	2835	2877	2853	2770	2957	2959	2957	3024	2908	2869
京都エリア	3080	2979	2890	3076	2936	3260	3324	3224	2964	3340	2997	3206
滋賀エリア	2874	2952	2656	2715	2788	3056	2843	3019	3078	2926	2874	2860

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
契約者全体	3383	3510	3770	4094	4060	4338	4517	4633	4780	5071	5228	5409
大阪市内エリア	3332	3403	3761	4163	4116	4593	4685	4956	4981	5528	5289	5693
北摂エリア	3577	3762	3988	4026	4134	3992	4298	4655	4992	5140	5691	5656
阪神間エリア	3527	3956	4500	4597	4463	4506	4671	4692	4886	5052	5891	5858
神戸市以西エリア	3517	3491	3529	3995	3702	4509	4941	4479	4413	4672	5031	5395
南大阪・和歌山エリア	2864	2951	3032	3149	3753	3898	3602	3875	3705	4062	4624	4573
東大阪・奈良エリア	3234	3139	3424	3567	3394	3630	3444	3416	3791	3913	4095	4408
京阪エリア	2966	3034	3549	3612	3731	3739	3907	4430	3858	4357	4386	4742
京都エリア	3486	3646	3746	4375	3913	4136	4447	5002	5239	5471	5715	5776
滋賀エリア	2758	3366	3152	3276	3555	3475	4013	3947	4562	4096	4134	3958

(単位: 万円)

【参考】調査数

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967	1,607	2,041
大阪市内エリア	318	340	445	316	306	430	226	245	338	514	511	761
北摂エリア	202	265	331	204	253	276	193	163	137	403	382	472
阪神間エリア	222	242	253	208	204	260	133	160	130	197	221	239
神戸市以西エリア	246	171	210	146	199	160	130	140	76	266	202	206
南大阪・和歌山エリア	107	117	122	69	80	119	87	77	52	106	70	98
東大阪・奈良エリア	79	71	62	66	49	63	57	60	38	208	87	85
京阪エリア	110	90	60	44	51	125	76	60	74	62	34	69
京都エリア	134	133	122	68	82	76	84	88	52	111	40	71
滋賀エリア	76	40	40	20	21	87	34	40	21	89	58	39

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
契約者全体	1,557	1,088	1,449	1,355	1,160	1,125	1,024	974	2,220	1,920	2,114	2,170
大阪市内エリア	647	383	448	545	412	364	345	256	555	554	607	578
北摂エリア	299	231	368	299	233	183	248	266	583	347	410	449
阪神間エリア	185	93	105	112	165	206	188	183	346	334	242	285
神戸市以西エリア	165	147	195	136	122	125	105	118	368	307	258	249
南大阪・和歌山エリア	36	53	52	22	33	38	31	35	50	18	37	126
東大阪・奈良エリア	59	42	94	61	18	11	10	31	96	76	129	113
京阪エリア	61	36	58	39	42	25	47	28	31	22	109	98
京都エリア	62	75	104	116	119	156	37	25	123	169	175	153
滋賀エリア	43	28	19	25	16	17	13	32	68	93	142	118

(単位: 人)

※調査数には、購入価格が無回答のサンプルも含む。

3-02-11-29

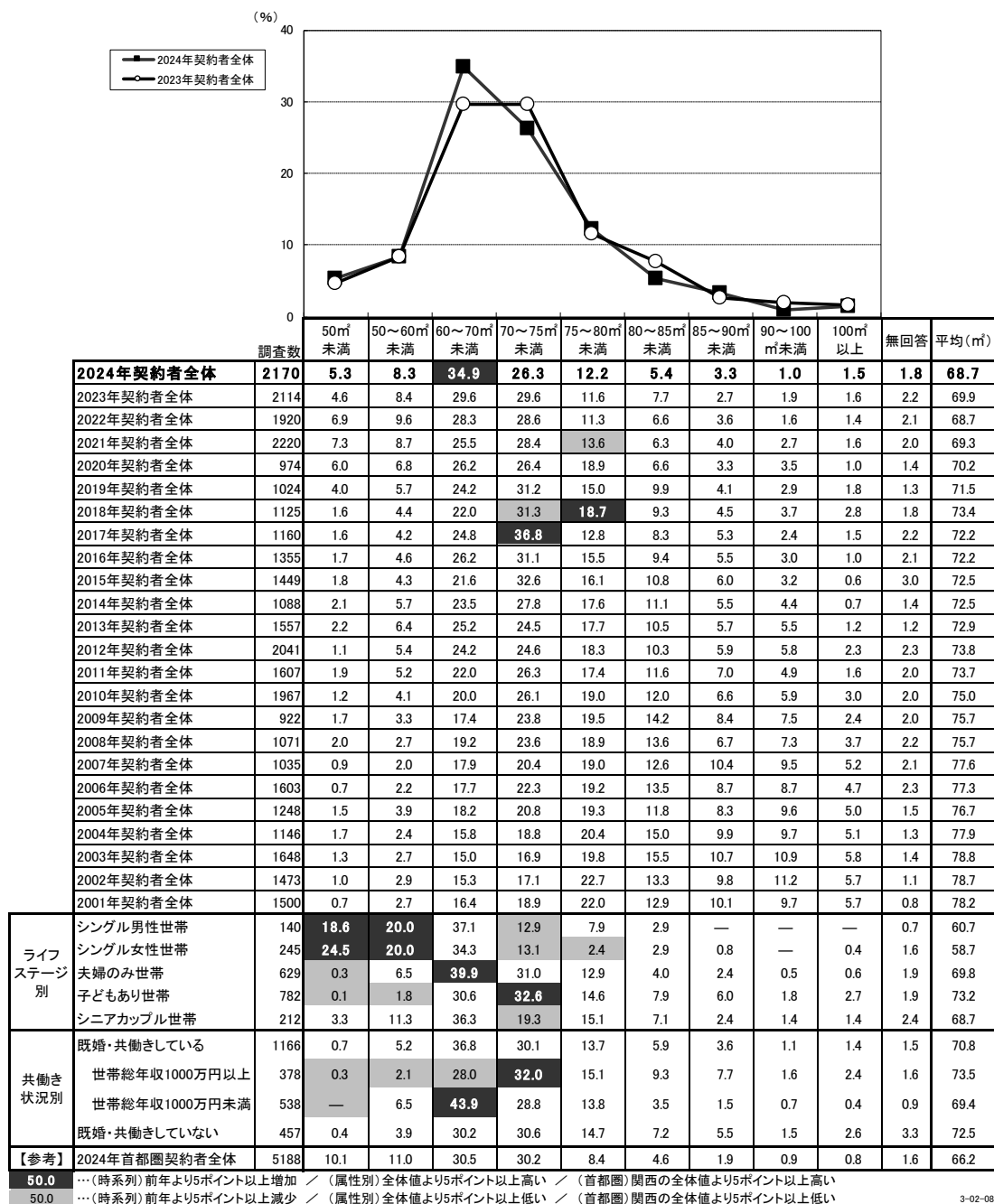
## 10. 専有面積

- 平均専有面積は68.7㎡で2022年と並び、2001年調査開始以降で最も小さい

◇ 専有面積は「60～70㎡未満」が35%、「70～75㎡未満」が26%を占める。2023年より「60～70㎡未満」の割合が増加した。平均専有面積は68.7㎡で2022年と並び、2001年の調査開始以降で最も小さくなった。

◇ ライフステージ別に見ると、平均専有面積が最も大きいのは子どもあり世帯で、73.2㎡である。

### ■ 専有面積（全体／実数回答）



3-02-08

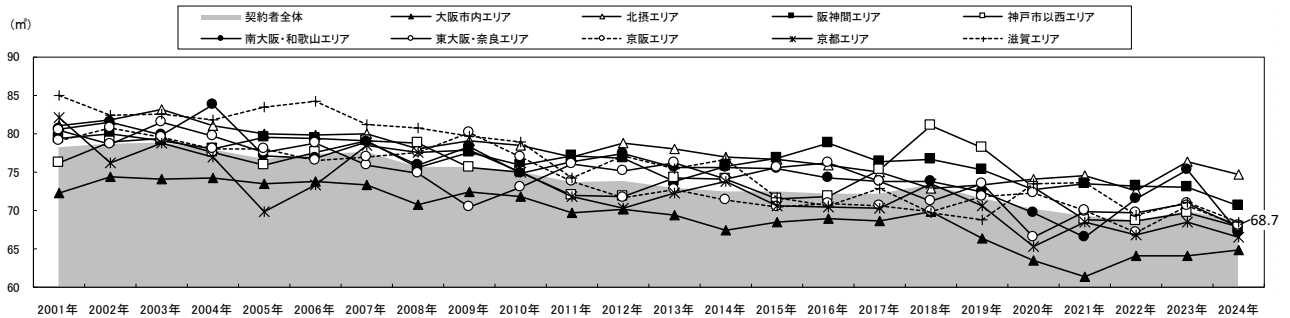
# 11. 専有面積（購入エリア別・平均値の時系列推移）

● 阪神間、神戸市以西、滋賀の3エリアでは、平均専有面積が2001年調査開始以降最も小さい

◇ 購入物件所在地別に見ると、平均専有面積が最も大きいのは北摂エリアで、74.7㎡である。

◇ 購入物件所在地別に平均専有面積の推移を見ると、阪神間エリア、神戸市以西エリア、滋賀エリアでは、2001年調査開始以降最も小さくなった。

## ■ 購入物件所在地別 平均専有面積の推移



2001年 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
契約者全体	78.2	78.7	78.8	77.9	76.7	77.3	77.6	75.7	75.7	75.0	73.7	73.8
購入物件所在地別												
大阪市内エリア	72.3	74.3	74.1	74.2	73.4	73.8	73.3	70.7	72.4	71.8	69.7	70.1
北摂エリア	81.0	81.8	83.1	81.1	80.0	79.8	80.0	78.0	79.0	78.4	77.0	78.8
阪神間エリア	79.4	79.9	79.1	78.0	79.5	79.4	79.0	75.5	77.5	75.8	77.1	76.8
神戸市以西エリア	76.1	78.9	79.4	77.6	75.9	77.5	79.0	78.7	75.6	74.9	72.0	71.7
南大阪・和歌山エリア	80.6	81.5	79.8	83.8	77.1	76.8	78.9	75.8	78.3	74.8	76.4	77.4
東大阪・奈良エリア	80.4	78.6	81.5	79.7	77.6	78.7	75.9	74.8	70.4	73.0	76.0	75.1
京阪エリア	79.1	80.7	79.5	78.0	78.0	76.5	77.0	77.5	80.1	77.0	73.7	71.6
京都エリア	82.1	76.1	78.7	76.9	69.8	73.3	78.5	77.5	77.9	74.9	71.8	70.3
滋賀エリア	84.9	82.4	82.5	81.8	83.4	84.2	81.2	80.7	79.6	78.9	74.2	77.1

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
契約者全体	72.9	72.5	72.5	72.2	72.2	73.4	71.5	70.2	69.3	68.7	69.9	<b>68.7</b>
購入物件所在地別												
大阪市内エリア	69.4	67.4	68.5	68.9	68.6	69.8	66.3	63.4	61.3	64.0	64.0	<b>64.8</b>
北摂エリア	78.0	76.9	76.6	75.9	75.0	72.8	73.3	74.1	74.5	72.5	76.4	<b>74.7</b>
阪神間エリア	73.8	75.7	76.8	78.8	76.4	76.6	75.2	72.7	73.5	73.2	73.0	<b>70.6</b>
神戸市以西エリア	74.2	74.0	71.4	71.8	75.2	81.0	78.1	73.0	68.8	68.6	69.6	<b>67.8</b>
南大阪・和歌山エリア	75.6	75.5	75.4	74.2	73.8	73.8	72.4	69.6	66.4	71.4	75.3	<b>67.0</b>
東大阪・奈良エリア	76.2	74.0	75.5	76.1	73.7	71.2	73.5	66.4	69.8	69.7	70.8	<b>67.9</b>
京阪エリア	72.7	71.3	70.4	70.9	70.6	69.8	71.7	72.2	70.0	67.0	70.6	<b>68.0</b>
京都エリア	72.2	73.7	70.6	70.4	70.3	73.4	70.5	65.2	68.4	66.7	68.5	<b>66.4</b>
滋賀エリア	75.4	76.7	71.6	70.6	72.9	69.6	68.8	73.5	73.6	69.3	71.0	<b>68.5</b>

(単位: m)

【参考】調査数

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
契約者全体	1,500	1,473	1,648	1,146	1,248	1,603	1,035	1,071	922	1,967	1,607	2,041
購入物件所在地別												
大阪市内エリア	318	340	445	316	306	430	226	245	338	514	511	761
北摂エリア	202	265	331	204	253	276	193	163	137	403	382	472
阪神間エリア	222	242	253	208	204	260	133	160	130	197	221	239
神戸市以西エリア	246	171	210	146	199	160	130	140	76	266	202	206
南大阪・和歌山エリア	107	117	122	69	80	119	87	77	52	106	70	98
東大阪・奈良エリア	79	71	62	66	49	63	57	60	38	208	87	85
京阪エリア	110	90	60	44	51	125	76	60	74	62	34	69
京都エリア	134	133	122	68	82	76	84	88	52	111	40	71
滋賀エリア	76	40	40	20	21	87	34	40	21	89	58	39

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
契約者全体	1,557	1,088	1,449	1,355	1,160	1,125	1,024	974	2,220	1,920	2,114	<b>2,170</b>
購入物件所在地別												
大阪市内エリア	647	383	448	545	412	364	345	256	555	554	607	<b>578</b>
北摂エリア	299	231	368	299	233	183	248	266	583	347	410	<b>449</b>
阪神間エリア	185	93	105	112	165	206	188	183	346	334	242	<b>285</b>
神戸市以西エリア	165	147	195	136	122	125	105	118	368	307	258	<b>249</b>
南大阪・和歌山エリア	36	53	52	22	33	38	31	35	50	18	37	<b>126</b>
東大阪・奈良エリア	59	42	94	61	18	11	10	31	96	76	129	<b>113</b>
京阪エリア	61	36	58	39	42	25	47	28	31	22	109	<b>98</b>
京都エリア	62	75	104	116	119	156	37	25	123	169	175	<b>153</b>
滋賀エリア	43	28	19	25	16	17	13	32	68	93	142	<b>118</b>

(単位: 人)

※調査数には、購入価格が無回答のサンプルも含む。

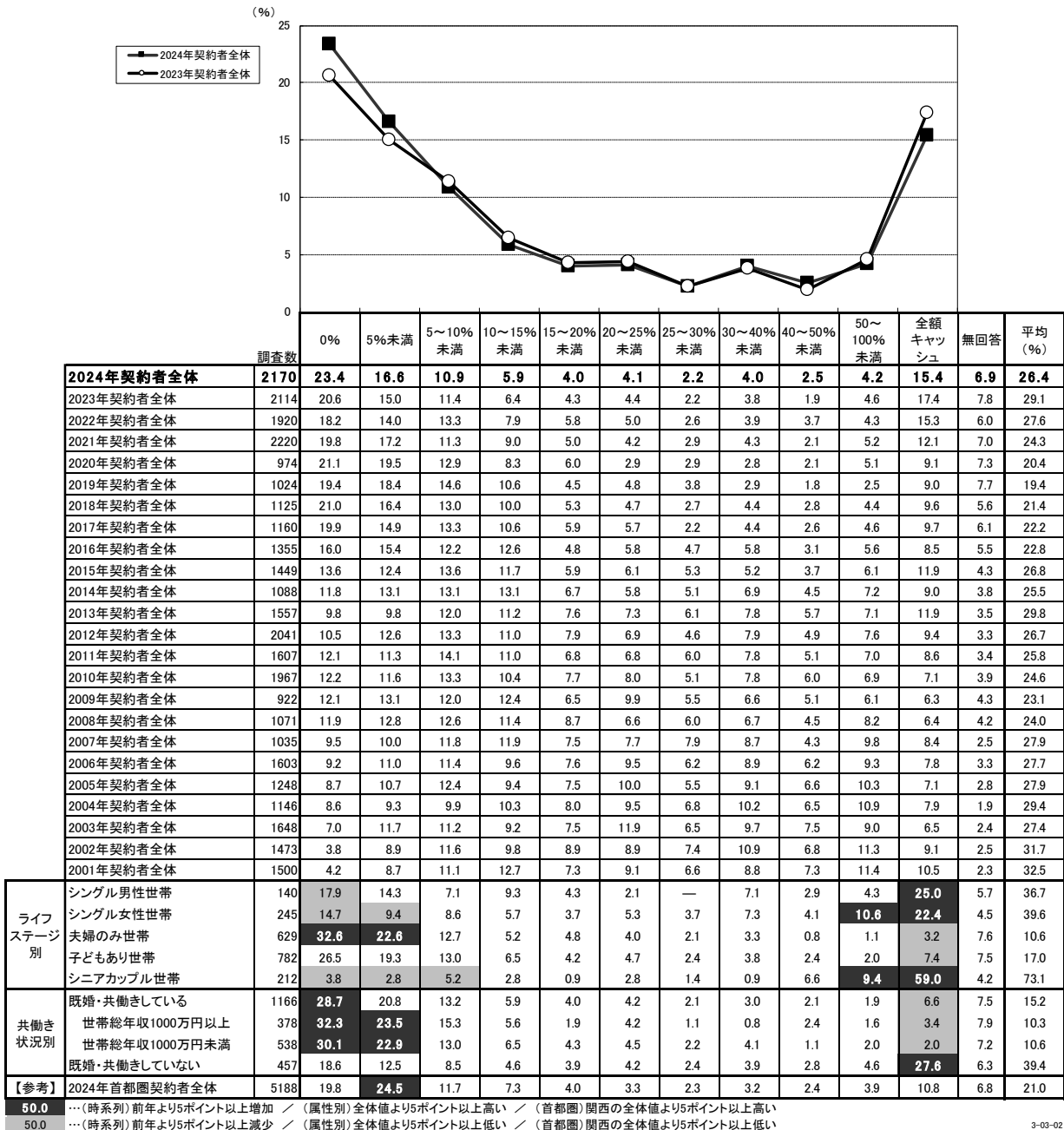
3-02-06-29

## 12. 自己資金比率

### ● 自己資金0%の割合は23%で、2001年調査開始以降最も高い

- ◇ 自己資金比率は「0%」が最も高く23%、次いで「5%未満」が17%である。「0%」の割合は、2001年調査開始以降最も高くなった。自己資金比率は平均で26.4%で、2023年より低下した。
- ◇ ライフステージ別に見ると、自己資金比率の平均が最も高いのはシニアカップル世帯の73.1%、最も低いのは夫婦のみ世帯の10.6%である。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別に見ると、共働きをしている方が自己資金比率の平均が低くなっている。

### ■ 自己資金比率（全体／実数回答）

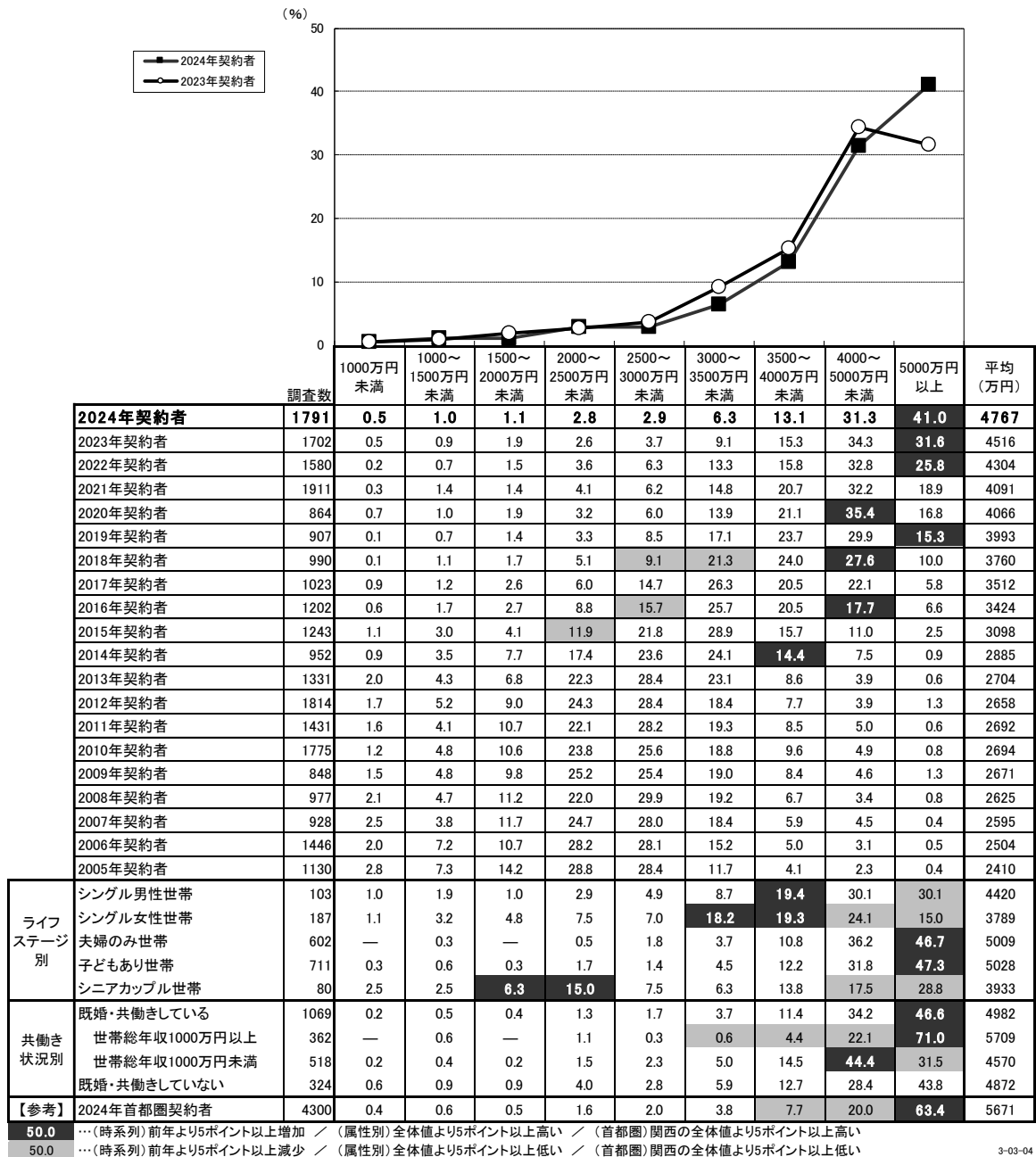


### 13. ローン借入額

● ローン借入総額は平均4767万円 2005年以降で最も高い

- ◇ ローン借入総額は4000万円以上が7割を超え、平均4767万円となり、2005年以降で最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、ローン借入総額（平均）は夫婦のみ世帯で5009万円、子どもあり世帯で5028万円と、全体平均より高くなっている。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別に見ると、共働きをしている方がローン借入総額（平均）が高い。さらに、既婚・共働き世帯を総年収別に見ると、総年収1000万円以上の世帯では、「5000万円以上」が71%を占め、平均で5709万円となっている。

■ ローン借入総額（ローン借入者※／実数回答）



※ローン借入者：ローン借入総額の回答があり、かつ金額が0円でない者。

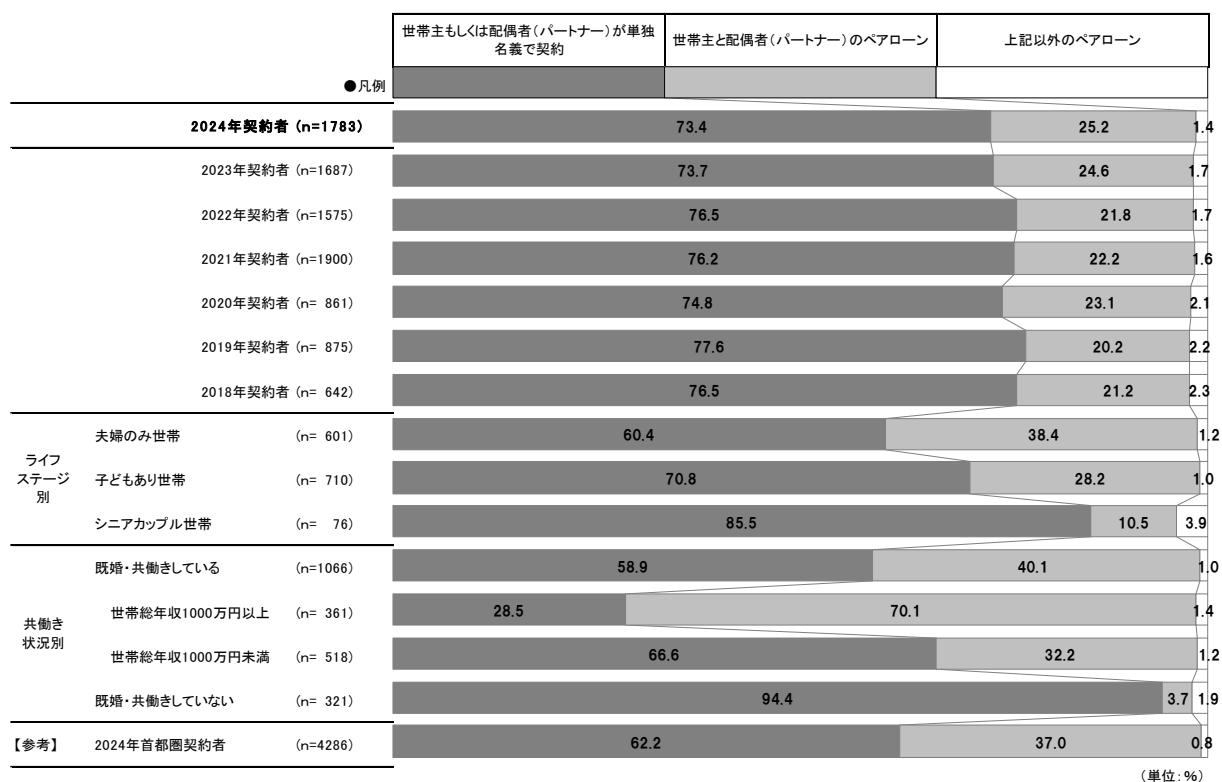


## 14. ローン契約形態

### ● 世帯主と配偶者のペアローンが全体で25% 2018年以降で最も高い

- ◇ 住宅ローンの契約形態は、「単独名義で契約」が73%を占め、「世帯主と配偶者のペアローン」は25%である。「世帯主と配偶者のペアローン」の割合は、2018年以降で最も高くなった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、夫婦のみ世帯では「世帯主と配偶者のペアローン」が38%を占めている。
- ◇ 既婚世帯を共働き状況別に見ると、共働きをしている世帯では「世帯主と配偶者のペアローン」が40%を占めている。さらに、既婚・共働き世帯を総年収別に見ると、総年収1000万円以上の世帯の方が「世帯主と配偶者のペアローン」の割合が高く、70%を占めている。

### ■ 住宅ローン契約形態（ローン借入者。住宅ローン非利用、無回答除く／単一回答）



※住宅ローン契約形態は、2018年3月下旬に新設された項目のため、2018年契約者については、旧調査票での回答者は集計から除いている。

※住宅ローン契約形態は、以下のように尋ねているが、

「4.住宅ローンは利用していない」と回答した者、この質問に無回答だった者も集計から除いている。

Q19 住宅ローンについてお聞きます。

①契約形態は、次のどれにあてはまりますか。(該当するものを1つ選択し、番号に○)

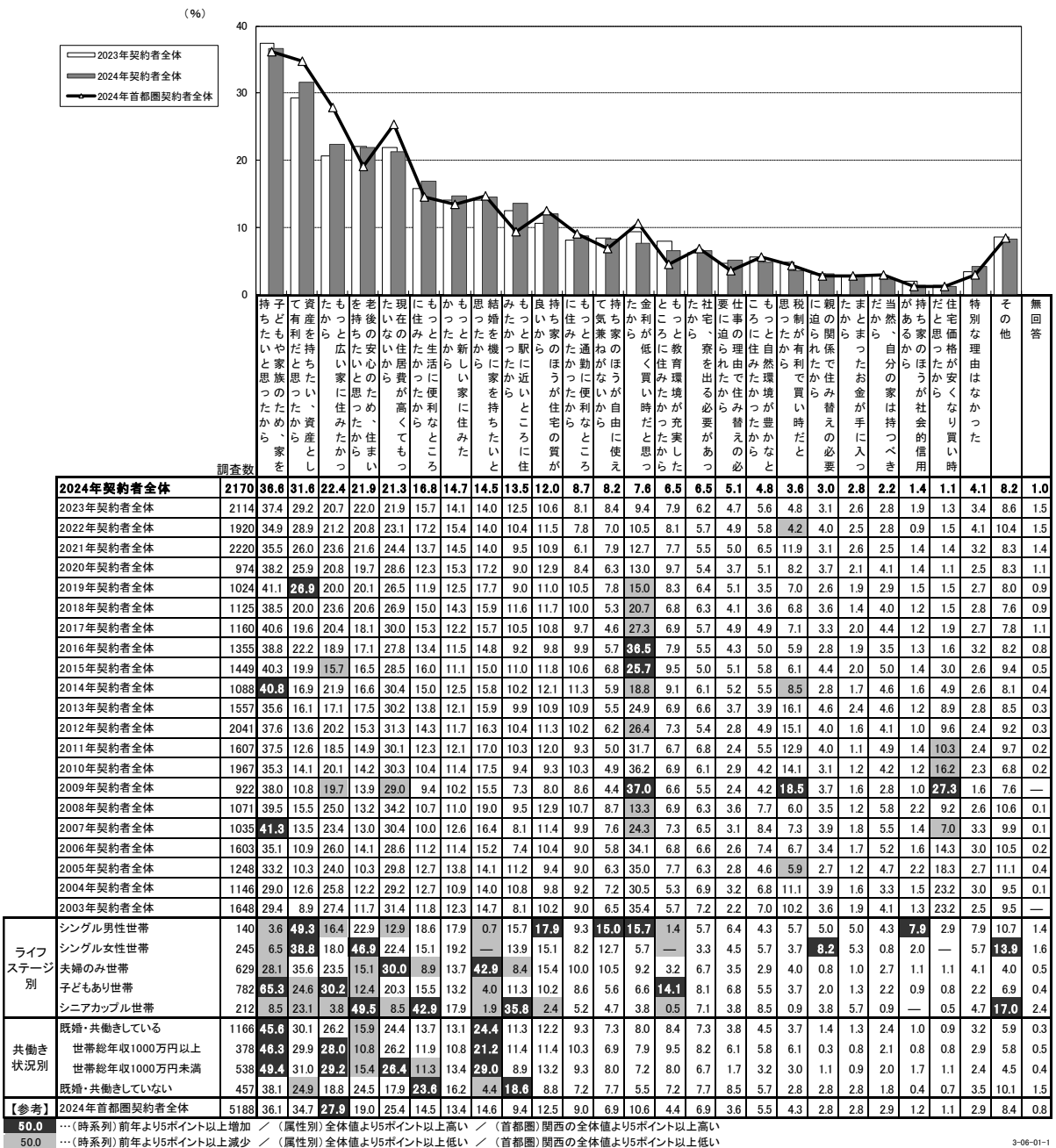
- 1.世帯主もしくは配偶者(パートナー)が単独名義で契約
- 2.世帯主と配偶者(パートナー)のペアローン
- 3.上記以外のペアローン
- 4.住宅ローンは利用していない

15. 住まいの購入理由

- 「資産として有利」という理由が2003年以降で最高値、「金利が低い」「税制が有利」は最低値

- ◇ 住まいの購入を思い立った理由は、「子どもや家族のため、家を持ちたいと思ったから」が最も高く37%。次いで「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」（32%）である。
- ◇ 2003年以降で最高値となったのは、「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」「もっと駅に近いところに住みたかったから」「まとまったお金が手に入ったから」。反対に最低値となったのは、「現在の住居費が高くてもたないから」「金利が低く買い時だと思ったから」「税制が有利で買い時だと思ったから」「当然、自分の家は持つべきだから」「住宅価格が安くなり買い時だと思ったから」である。
- ◇ 「資産を持ちたい、資産として有利だと思ったから」という理由は、シングル世帯で全体と比べて高い。

■ 購入理由（全体／3つまでの限定回答）※「2024年契約者全体」で降順ソート



● 2023年同様、日々の生活のしやすさを求める割合が最も高い

- ◇ 住まい探しに当たって求めた暮らし方のイメージで最も高いのは、「日々の生活がしやすい」で41%。以下、「仕事や通勤に便利」(34%)、「買い物に便利である」(30%)と続く。2023年から大きな変化は見られない。
- ◇ ライフステージ別に見ると、それぞれ最も高いのは、シングル男性世帯は「各方面にアクセスが良い」、シングル女性世帯と夫婦のみ世帯は「日々の生活がしやすい」、子どもあり世帯は「子育て・教育がしやすい」、シニアカップル世帯は「買い物に便利である」と、違いが出ている。
- ◇ 既婚・共働き世帯を総年収別に見ると、総年収1000万円以上の世帯の方が、「居住空間にゆとりがある」ことや「共働きがしやすい」ことへの期待が高くなっている。

■ 暮らし方のイメージ (全体/5つまでの限定回答)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
		↑	↓																								
		日々の生活がしやすい	仕事や通勤に便利	買い物に便利である	子育て・教育がしやすい	各方面にアクセスが良い	居住空間にゆとりがある	日当たりのよい生活ができる	見晴らしや眺望が良い	心のゆとりが得られる	安全な暮らしができる	都心に近い	休日を楽しめる	家事がしやすい	ペットとの暮らしが楽しめる	静かな生活ができる	高級感がある	家族のだんらんが得られる	高齢者に快適な暮らしができる	時間のゆとりが得られる	共働きがしやすい	親族・友人が呼べる	がシニアで機能的な暮らしができる	快適な一人暮らしができる	自然に恵まれている	緑のある暮らしが楽しめる	
調査数																											
2024年契約者全体		2170	40.6	33.5	30.3	29.2	28.2	27.3	21.6	18.2	17.3	17.2	11.6	10.9	10.8	10.0	8.3	8.2	8.1	7.5	7.4	7.3	7.2	6.5	6.3	5.9	5.7
2023年契約者全体		2114	37.9 (1)	34.5 (2)	28.9 (5)	30.1 (3)	29.2 (4)	27.5 (6)	20.7 (7)	17.4 (9)	18.7 (8)	16.7 (10)	11.6 (11)	10.0 (12)	9.5 (14)	8.1 (18)	8.8 (16)	9.9 (13)	7.4 (20)	9.3 (15)	6.8 (22)	8.6 (17)	6.9 (21)	7.5 (19)	5.7 (25)	5.7 (25)	4.8 (30)
2022年契約者全体		1920	35.3 (1)	34.5 (2)	30.8 (4)	31.0 (3)	25.8 (6)	26.8 (5)	21.8 (7)	16.4 (10)	18.2 (8)	16.8 (11)	11.1 (11)	11.1 (11)	9.1 (14)	8.5 (16)	10.4 (13)	8.9 (15)	7.1 (21)	7.1 (21)	7.2 (20)	8.1 (17)	7.5 (19)	7.1 (21)	6.9 (24)	6.4 (25)	6.4 (25)
2021年契約者全体		2220	33.6 (1)	32.5 (2)	28.2 (5)	31.8 (3)	24.8 (6)	30.2 (4)	24.8 (6)	18.6 (9)	20.0 (8)	17.6 (10)	9.8 (13)	10.9 (11)	11.3 (16)	8.6 (18)	11.1 (15)	8.2 (18)	8.8 (15)	6.5 (24)	7.0 (22)	8.3 (17)	7.8 (20)	6.3 (25)	7.4 (21)	6.9 (23)	8.2 (18)
2020年契約者全体		974	36.3 (1)	33.2 (3)	26.2 (5)	34.8 (2)	25.5 (6)	29.9 (4)	24.3 (7)	16.6 (10)	20.2 (8)	18.5 (9)	9.4 (15)	13.3 (13)	7.4 (19)	11.4 (12)	7.3 (20)	7.8 (18)	4.5 (28)	9.0 (16)	10.3 (14)	8.4 (17)	7.1 (22)	5.9 (25)	6.5 (23)	7.2 (21)	7.2 (21)
2019年契約者全体		1024	35.8 (2)	38.8 (1)	27.2 (5)	31.3 (4)	26.4 (6)	32.2 (3)	22.8 (7)	19.2 (9)	19.7 (8)	15.4 (10)	14.2 (11)	11.3 (12)	12.8 (18)	7.5 (21)	6.3 (15)	9.5 (19)	7.2 (31)	3.5 (16)	9.2 (14)	10.6 (17)	8.8 (24)	5.9 (31)	6.3 (21)	7.1 (21)	7.1 (20)
2018年契約者全体		1125	35.0 (1)	33.1 (2)	30.0 (4)	32.2 (3)	28.8 (5)	26.9 (6)	26.5 (7)	16.5 (10)	18.3 (8)	17.2 (9)	11.1 (11)	11.6 (12)	6.6 (20)	7.6 (18)	8.5 (17)	7.3 (19)	6.0 (22)	9.5 (15)	11.1 (14)	8.8 (16)	5.3 (24)	3.1 (34)	4.9 (26)	5.5 (23)	5.5 (23)
2017年契約者全体		1160	33.9 (2)	38.0 (1)	27.6 (4)	31.3 (3)	26.9 (6)	27.3 (5)	21.6 (7)	17.8 (9)	18.2 (8)	15.7 (10)	14.8 (11)	10.3 (14)	12.4 (12)	5.6 (25)	8.2 (17)	8.2 (17)	8.2 (24)	5.9 (21)	7.2 (21)	8.7 (15)	10.4 (13)	6.9 (22)	4.2 (33)	5.3 (27)	8.3 (16)
2016年契約者全体		1355	32.3 (3)	38.3 (1)	28.6 (5)	33.4 (2)	29.4 (4)	26.3 (6)	20.5 (7)	17.1 (8)	17.0 (9)	16.8 (10)	15.6 (11)	12.2 (12)	9.1 (15)	6.2 (25)	8.6 (18)	7.7 (21)	8.8 (17)	5.3 (27)	6.6 (23)	9.6 (14)	11.2 (13)	6.4 (24)	5.3 (27)	8.2 (20)	9.0 (16)
2015年契約者全体		1449	32.9 (3)	35.9 (1)	27.8 (4)	34.7 (2)	27.8 (5)	24.8 (6)	22.3 (7)	16.9 (10)	19.1 (8)	19.0 (9)	15.0 (13)	10.1 (14)	9.8 (22)	6.6 (17)	9.1 (22)	6.6 (15)	9.5 (26)	5.5 (19)	8.1 (16)	10.2 (12)	10.8 (25)	6.1 (32)	4.6 (21)	7.3 (20)	8.0 (18)
2014年契約者全体		1088	33.2 (2)	39.0 (1)	27.0 (6)	33.2 (2)	28.2 (5)	28.3 (4)	23.4 (7)	21.0 (8)	18.4 (9)	14.7 (10)	13.5 (11)	10.7 (12)	10.9 (12)	8.0 (16)	8.5 (25)	5.6 (14)	10.6 (28)	5.0 (22)	7.3 (20)	7.4 (20)	10.2 (15)	6.6 (23)	4.1 (32)	5.2 (27)	8.1 (18)
ライフ ステージ 別	シングル男性世帯	140	30.7 (2)	30.7 (2)	19.3 (9)	2.1 (35)	32.1 (1)	27.9 (4)	23.6 (6)	26.4 (5)	18.6 (10)	7.1 (18)	20.7 (8)	10.7 (15)	4.3 (27)	5.7 (23)	11.4 (11)	11.4 (11)	—	5.7 (44)	11.4 (23)	—	2.9 (31)	11.4 (11)	22.1 (7)	3.6 (28)	6.4 (19)
	シングル女性世帯	245	38.8 (1)	27.3 (5)	29.4 (3)	1.2 (40)	25.3 (7)	29.4 (3)	17.6 (10)	20.0 (8)	26.1 (6)	20.0 (8)	9.4 (18)	11.4 (13)	10.6 (16)	12.7 (11)	11.0 (15)	6.1 (23)	1.6 (38)	11.4 (20)	7.8 (20)	0.4 (44)	10.2 (17)	12.2 (12)	38.4 (2)	3.3 (31)	4.5 (28)
	夫婦のみ世帯	629	41.5 (1)	40.7 (2)	28.3 (4)	26.2 (6)	27.0 (5)	30.4 (3)	22.7 (7)	16.1 (9)	17.2 (8)	15.7 (10)	12.6 (13)	12.9 (12)	11.0 (14)	13.5 (11)	10.3 (16)	8.3 (18)	7.9 (20)	0.5 (44)	9.1 (17)	11.0 (14)	8.1 (19)	4.1 (28)	0.2 (49)	6.0 (23)	6.0 (23)
	子どもあり世帯	782	41.3 (2)	34.0 (3)	28.4 (5)	54.6 (1)	25.3 (6)	30.7 (4)	22.6 (7)	15.0 (9)	13.8 (11)	15.6 (8)	9.5 (15)	9.7 (14)	13.3 (12)	6.8 (19)	6.1 (21)	8.2 (16)	13.9 (10)	4.1 (26)	5.9 (22)	10.2 (13)	7.4 (17)	4.0 (27)	0.1 (48)	7.2 (18)	6.3 (20)
シニアカップル世帯	212	42.0 (2)	18.9 (8)	48.2 (1)	0.5 (45)	40.8 (3)	8.0 (14)	20.8 (6)	30.2 (5)	19.8 (7)	17.9 (9)	14.6 (10)	9.9 (13)	7.5 (15)	13.2 (11)	7.5 (15)	7.5 (15)	1.9 (34)	34.4 (4)	5.7 (21)	1.4 (39)	3.8 (27)	13.2 (11)	0.9 (46)	6.1 (19)	3.8 (27)	
共働き 状況別	既婚・共働きしている	1166	41.2 (1)	37.9 (3)	29.0 (5)	38.4 (2)	26.9 (6)	29.8 (4)	21.4 (7)	14.8 (10)	15.2 (9)	18.3 (8)	10.8 (14)	12.8 (11)	11.8 (13)	10.6 (15)	8.4 (17)	8.3 (18)	10.4 (16)	3.8 (30)	7.4 (20)	12.2 (12)	8.2 (19)	4.7 (25)	0.3 (48)	6.7 (21)	5.7 (23)
	世帯総年収1000万円以上	378	41.8 (1)	41.3 (3)	29.4 (5)	41.5 (2)	27.5 (6)	32.3 (4)	18.8 (7)	14.8 (11)	16.4 (8)	15.6 (10)	10.3 (12)	13.2 (13)	10.8 (15)	9.8 (19)	7.9 (18)	8.2 (16)	9.3 (33)	2.4 (33)	9.0 (17)	15.9 (9)	6.6 (20)	3.2 (47)	0.3 (29)	6.1 (23)	6.3 (21)
	世帯総年収1000万円未満	538	42.0 (1)	38.7 (3)	27.5 (5)	40.7 (2)	25.3 (6)	31.0 (4)	21.2 (7)	13.4 (11)	13.9 (9)	19.1 (8)	10.2 (16)	11.3 (13)	13.9 (12)	12.3 (9)	7.8 (20)	7.1 (18)	11.5 (20)	2.2 (35)	7.1 (20)	11.7 (13)	9.5 (17)	5.6 (23)	0.2 (48)	7.8 (18)	5.6 (23)
既婚・共働きしていない	457	42.2 (1)	26.3 (5)	35.0 (2)	31.7 (3)	30.6 (4)	21.9 (8)	25.2 (6)	23.9 (7)	17.7 (9)	16.4 (10)	12.7 (12)	6.3 (19)	11.2 (13)	9.2 (14)	6.8 (16)	7.7 (17)	9.2 (14)	14.0 (11)	6.3 (19)	2.2 (35)	4.6 (27)	6.6 (18)	0.2 (46)	6.3 (19)	6.1 (22)	
【参考】	2024年首都圏契約者全体	5188	37.0 (1)	32.4 (3)	27.8 (5)	29.1 (4)	22.5 (7)	33.4 (2)	23.2 (6)	14.8 (10)	19.1 (8)	15.9 (9)	13.3 (12)	9.2 (14)	11.0 (13)	8.9 (15)	7.3 (18)	7.9 (17)	5.0 (28)	7.2 (20)	8.8 (16)	7.3 (18)	5.7 (24)	6.9 (22)	6.4 (23)	6.4 (23)	7.2 (20)

50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上低い  
 ↑ …2014年と比べて5ポイント以上増加 ↓ …2014年と比べて5ポイント以上減少  
 ※( )内数字は当該年・当該属性内の順位 (単位:%)

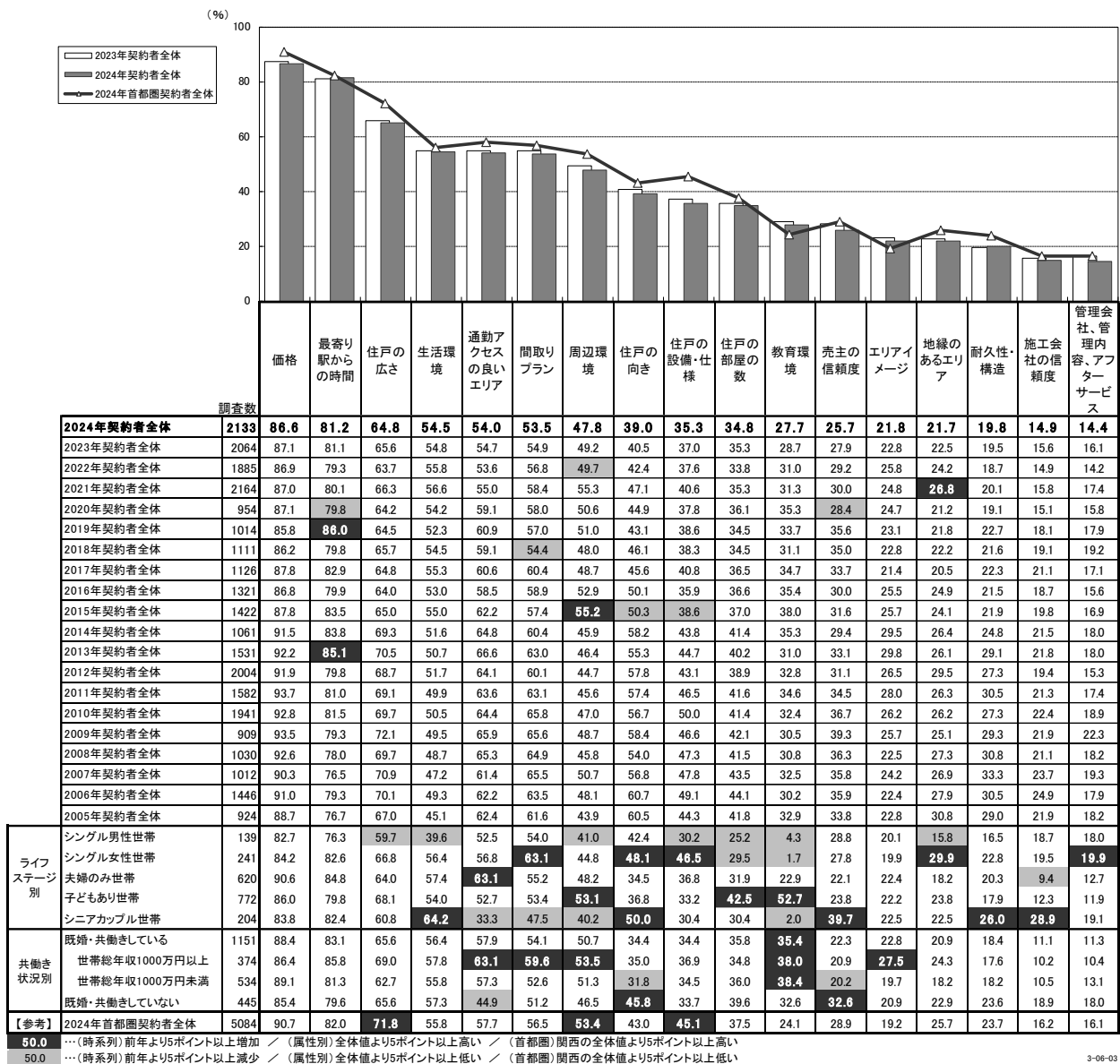
※調査票では、「Q.期待していた生活のイメージに近いものを下欄からお選びください」と尋ねている。  
 ※50項目中、2024年の上位25項目を表示。

## 17. 重視項目

### ● 2005年以降で重視度が最低値の項目が目立つ（間取りプラン、住戸の向き、設備・仕様等）

- ◇ 物件を検討する上で重視した項目は、「価格」（87%）が最も高く、以下、「最寄り駅からの時間」（81%）、「住戸の広さ」（65%）、「生活環境」（55%）などが続く。
- ◇ 2005年以降で、「間取りプラン」「住戸の向き」「住戸の設備・仕様」「教育環境」「売主の信頼度」「施工会社の信頼度」の重視度が最低値となった。
- ◇ ライフステージ別に見ると、シニアカップル世帯では、「生活環境」「住戸の向き」「売主の信頼度」「耐久性・構造」「施工会社の信頼度」の重視度が、全体を5ポイント以上上回る。

### ■ 購入重視項目（全体、無回答を除く／複数回答）※「2024年契約者全体」で降順ソート



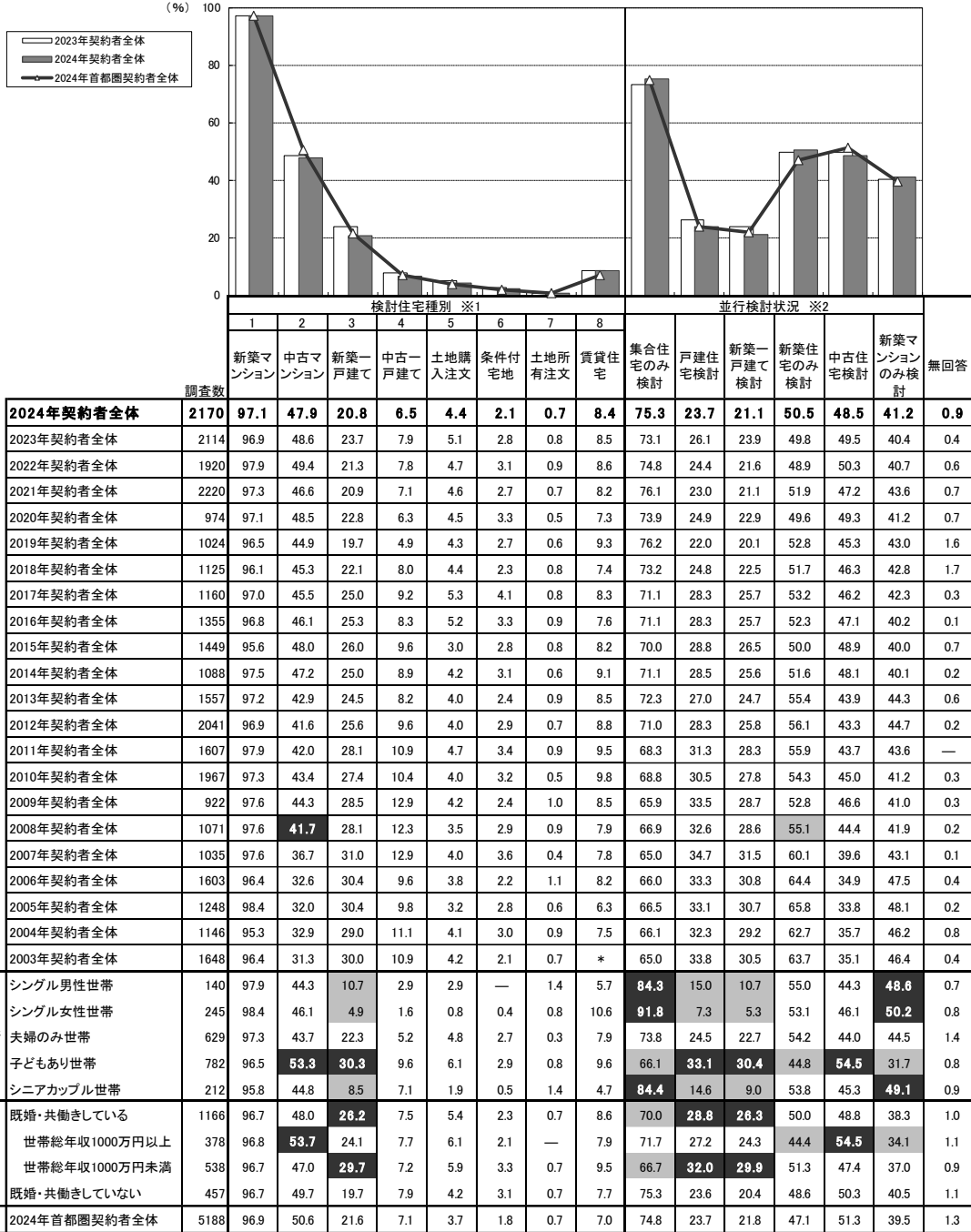
※購入重視項目は2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

# 18. 検討住宅種別

● 48%が中古マンションと並行検討 新築一戸建てと並行検討は21%で、2003年以降2番目に低い

◇ 具体的に検討した住宅の種別は、新築マンション以外では「中古マンション」が最も高く48%。次いで「新築一戸建て」の21%。新築一戸建てとの並行検討率は、2003年以降で2番目に低くなった。

## ■ 具体的に検討した住宅種別（全体／複数回答）



\*...該当項目なし

**50.0** ... (時系列) 前年より5ポイント以上増加 / (属性別) 全体値より5ポイント以上高い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上高い  
**50.0** ... (時系列) 前年より5ポイント以上減少 / (属性別) 全体値より5ポイント以上低い / (首都圏) 関西の全体値より5ポイント以上低い

3-05-03

### ※1 < 検討住宅種別について >

新築マンション契約者が、具体的に検討した住宅を種別ごとに集計 (選択肢の文言に関する補足)

5「土地購入注文」	建築条件なしの土地を購入して注文建築
6「条件付宅地」	建築条件付の土地*を購入して注文建築 (*施工会社があらかじめ決まっている土地)
7「土地所有注文」	所有している土地に注文建築
8「賃貸住宅」	2004年契約者から選択肢を追加

### ※2 < 並行検討状況について >

新築マンション契約者が、並行して検討した住宅の分野ごとに集計

(分野に関する補足: 賃貸住宅を除く検討住宅種別(1~7)の選択状況によって、下記の通り分類)

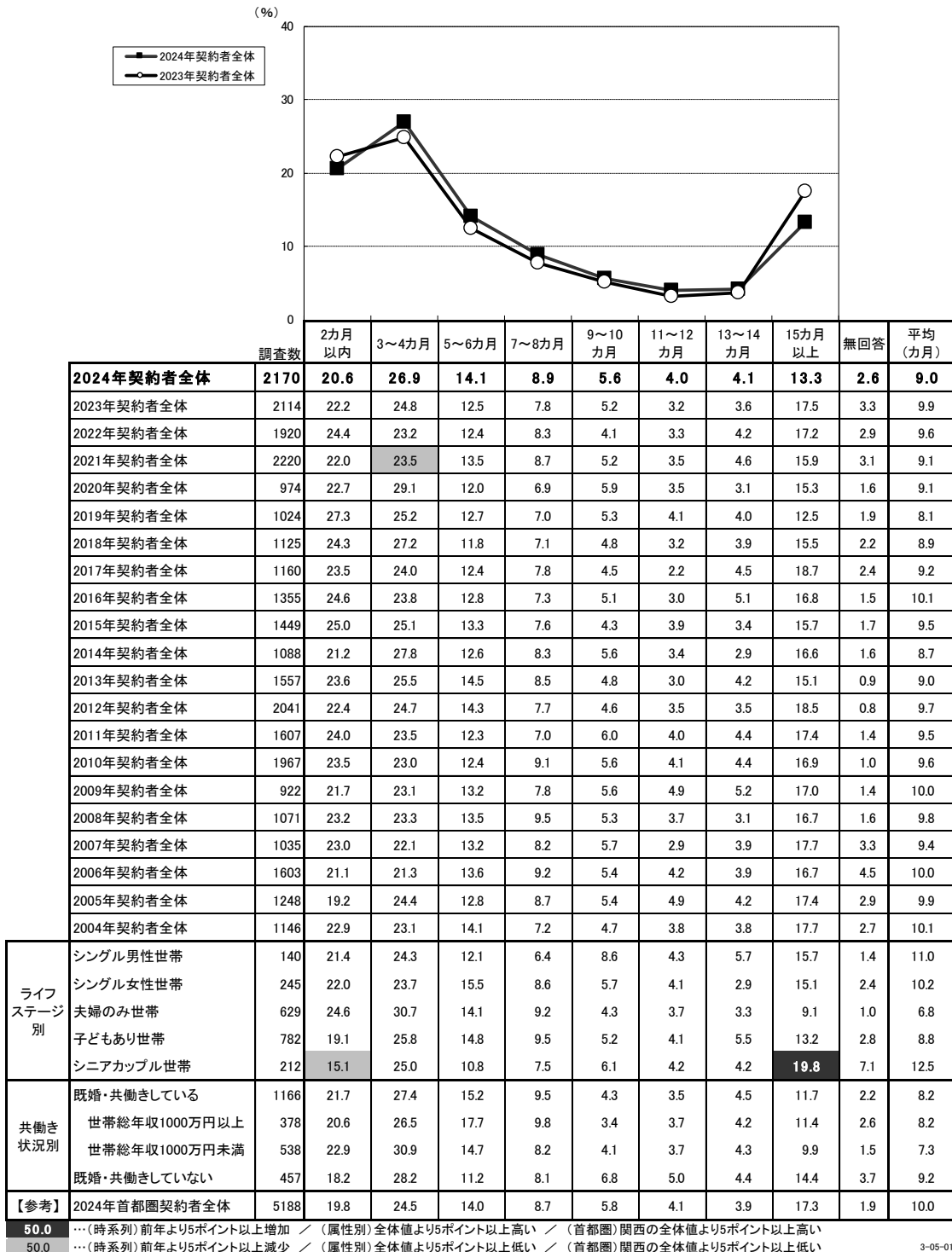
集合住宅のみ検討	1または2に○、3~7のいずれも×
戸建住宅のみ検討	3~7のいずれかに○
新築一戸建て検討	3または6に○
新築住宅のみ検討	1、3、5、6、7のいずれかに○、2、4のいずれも×
中古住宅のみ検討	2または4に○
新築マンションのみ検討	1のみに○、2~7のいずれも×

## 19. 購入を思い立ってから契約までの期間

### ● 購入を思い立ってから契約までの期間は平均9.0カ月

- ◇ 購入を思い立ってから契約するまでの期間は、「2カ月以内」が21%、「3～4カ月」が27%で、半数弱が4カ月以内に契約している。平均は9.0カ月である。
- ◇ ライフステージ別に見ると、最も短いのは夫婦のみ世帯で平均6.8カ月、最も長いのはシニアカップル世帯で平均12.5カ月である。

### ■ 購入を思い立ってから契約までの期間（全体／実数回答）



50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上増加 / (属性別)全体値より5ポイント以上高い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上高い  
 50.0 …(時系列)前年より5ポイント以上減少 / (属性別)全体値より5ポイント以上低い / (首都圏)関西の全体値より5ポイント以上低い

## 『SUUMOリサーチセンター』について

『SUUMOリサーチセンター』は、『SUUMO』の調査研究機関として、住まいや暮らしについての調査、住まいの品質向上に向けた実証実験、テクノロジーの実態調査を行っています。業界に向けた提言や生活者に向けた発信によって、住まいの価値を高め、一人ひとりにその価値が届くまでの伴走・支援をしています。『リクルート住宅総研』としての創立以来、約20年に渡って培ってきた住まいの検討者と不動産事業者に関する深い現場知見と『SUUMO』という国内最大級メディア運営に基づくデータに依拠した、実現できる未来を発信していきます。

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>      リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>